

教 育 部

教育政策課

課長 小林 伸一

事務事業評価票

事務事業名	社会教育事務
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	社会教育事務費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

「学都松本」がめざましちの姿を 学び続けるまち 共に学ぶまち 次代に引き継ぐまちと定め、市民とともに様々な取組みで実現する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 まつもと市民生きいき活動 思いやりの心で人に接するなど、いつの時代にあっても変わらない大切なこと (= 不易) 市民一人ひとりが自ら目標を定めて地道に取組む活動。周知のためこども育成課のまつもと子どもスマイル運動と連携したリーフレットの配布、広報まつもとで活動事例の紹介 ・リーフレット配布 全戸配布および関連施設窓口 ・広報まつもと事例紹介数 6回
2 学都松本推進事業 学都松本推進協議会を設置し、学びについて考える学都松本フォーラムの企画運営や、年間通じた推進事業の検討を、市民委員、教育部及び関係部局との連携のうえ実施するもの 活動指標:学都松本フォーラム参加者 2,041人
3 第2次教育振興基本計画策定 第1次松本市教育振興基本計画策定から5年を経過し、その成果をまとめ、評価・改善を図り、変化する社会情勢に対応した見直しを行いながら、「学都松本をめざして」第2次松本市教育振興基本計画を策定するもの 平成29年度活動指標 ・主要事業数 216(第1次) 244 ・計画策定及び周知 冊子及び概要版を関係機関へ配布

< 現状に対する認識 >

- 「まつもと市民生きいき活動」を周知から実践につなげる取組みが必要。
- 「学都松本推進事業」は、9月のフォーラムだけでなく、官民協働による年間を通じた周知や実践が必要。
- 策定された計画に沿って、実施された事業の評価と分析を行い改善点を次年度の活動へ反映していく。

部局名	教育部	課名	教育政策課	課CD	13100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	「学都松本」について知っている市民の割合				
指標の設定理由	学都松本の理念が市民にどれだけ広まっているかを知る指標として				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	71.7%	71.7%			
達成度	102.4%	102.4%			
成果指標(指標名)	学都松本フォーラム参加者数				
指標の設定理由	学都を周知する機会として代表的な事業の成果指標				
目標値	2,750	2,800	2,850	2,900	2,950
実績値	2,568	2,041			
達成度	93.4%	72.9%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	2,820	3,249			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,820	3,249			
人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	
嘱託	0	0			
合計コスト +	7,434	7,803			
前年度比	-	105.0%			

事務事業評価票

事務事業名	新科学館整備事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	新科学館整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H29～
--------	------

「宇宙と科学」に特化した施設として、子どもをはじめ市民等の来館者が、科学への興味・関心を高められるような、参加・体験型の科学館とするために必要な事業を実施するもの。平成29年度から設置した新科学館基本構想策定委員会及び庁内検討により、科学館の基本構想を策定して、基本構想に基づき、基本計画の策定及び基本設計を進めていく。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 先進科学館の視察
新科学館整備の参考とするための先進科学館の視察。多摩六都科学館、板橋区立教育科学館他
- 新科学館整備事業監修者との打合せ(5回)
新科学館のコンセプト等について打合せ
- 新科学館基本構想策定委員会の開催(2回)
外部有識者10名を委員とした基本構想策定委員会を開催

< 現状に対する認識 >

「宇宙と科学」に特化した施設として整備するため施設内容及び設備内容とともに、実施事業等について検討していく。

部局名	教育部	課名	教育政策課	課CD	13100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取組み	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	事業進捗率					
指標の設定理由	事業の進み具合を示す代表的な成果指標として					
目標値	基本方針の決定	基本構想策定委員会の設置	基本設計の着手	基本設計完成	実施設計完成	
実績値	基本方針の決定	基本構想策定委員会の設置	基本設計の着手			
達成度						
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	0	548			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		548			
人件費(千円)	0	人工	10,630	人工	
正規	0	0	7,590	1	
嘱託	0	0	0	0	
非常勤特別職			3040	1	
合計コスト +	0	11,178			
前年度比	-	-			

事務事業評価票

事務事業名	教育文化センター事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	教育文化センター費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

教育文化センターでの各種事業の実施により生涯学習の推進に寄与するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 プラネタリウム関係事業
天文機器を使用した天文講座やプラネタリウムのドーム・映像を利用した事業を実施
- 2 自然科学関係講座
科学工作教室の開催、サイエンスショーの実施
- 3 歴史・民俗関係講座
旧山辺学校改修工事
わら細工と昔の遊び道具作り教室、道祖神・文化財めぐり、探古会(古文書解説)
- 4 パソコン関係講座
ワード、エクセル、パワーポイント、ムービーメーカー講座の開催
- 5 視聴覚関係事業
親子映画会等の開催
- 6 教文学習専門委員会の開催
専門委員会を開催し、市内小学校5年生及び中学1年生を対象に実施している教文学習の事業内容等を検討するため、8つの部会で検討会等を実施。

< 現状に対する認識 >

「宇宙と科学」に特化した施設として再整備を進めるため、現在の事業及び新規事業の実施について検討していく。

部局名	教育部	課名	教育政策課	課CD	13100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	プラネタリウム事業参加者数				
指標の設定理由	施設の事業において中心的な役割を担っているため				
目標値	15,000	15,000	15,000	20,000	20,000
実績値	12,445	12,526			
達成度	83.0%	83.5%			
成果指標(指標名)	教育文化センター各種講座受講者数				
指標の設定理由	事業の実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	1,500	1,540	1,580	1,620	1,660
実績値	1,465	1,350			
達成度	97.7%	87.7%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	56,675		74,974							
国・県	4,104		4,104							
利用者負担金	3,191		2,877							
その他										
一般財源	49,380		67,993							
人件費(千円)	47,224	人工	39,473	人工		人工		人工		人工
正規	29,991	3.9	22,011	2.9						
嘱託	14,193	4.98	14,422	4.98						
非常勤特別職	3,040	1	3040	1						
合計コスト +	103,899		114,447							
前年度比	-		110.2%							

学校教育課

課長 麻田 仁郎

事務事業評価票

事務事業名	美ヶ原少年自然の家管理
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	美ヶ原少年自然の家管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
自然との関わりや集団生活を通じて、青少年の健全な心身発達を図る(キャンプ、交流会、研修会等)	

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

(1) 小学校5学年キャンプでの宿泊利用
(2) 一般団体への貸出
(3) 施設の維持管理

< 現状に対する認識 >

SNS等による情報で、県外からの利用者が増加している。市内利用者が8月以降は少ないため、公民館等と連携して市民への認知、利用を拡大していきたい。
--

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

	総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用者数(人)				
指標の設定理由	事業の実施状況を直接的に表せるため(過去の実績値から設定)				
目標値	3,360	3,360	3,360	3,360	3,360
実績値	2,648	2,584			
達成度	78.8%	76.9%			
成果指標(指標名)	施設利用率(利用日数/開館日数)				
指標の設定理由	事業の実施状況を直接的に表せるため(開館日数190日)				
目標値	46.4	46.4	46.4	46.4	46.4
実績値	41.5	44.7			
達成度	89.4%	96.3%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	3,156	3,343			
国・県					
利用者負担金	41	52			
その他					
一般財源	3,156	3,343			
人件費(千円)	3,619	3,649			
正規	769	759			
嘱託	2,850	2,890			
人工	0.1	0.1			
	1	1			
合計コスト +	6,775	6,992			
前年度比	-	103.2%			

事務事業評価票

事務事業名	教職員住宅管理
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	教職員住宅管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

教職員住宅の維持管理を適正に執行することで、教職員の住環境の充実を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 教職員住宅の維持・補修
- 2 空き家となった敷地の維持管理
- 3 H29実績 老朽化した教員住宅の解体 3棟(54戸)

< 現状に対する認識 >

安曇・奈川の需要のある住宅は改修をして住みやすい環境を提供する必要がある。入居の見込めない住宅については、解体後、積極的に売却を進める。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	入居戸数(戸)				
指標の設定理由	施設の利用状況を表せるため(H26入居個数を基に設定)				
目標値	90	84	84	84	84
実績値	69	65			
達成度	76.7%	77.4%			
成果指標(指標名)	入居率(入居戸数/全戸数)				
指標の設定理由	施設の利用状況を表せるため(H26入居戸数を基に設定)				
目標値	36.7	50.9	50.9	50.9	50.9
実績値	31.5	39.4			
達成度	85.8%	77.4%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	37,027		56,791							
国・県										
利用者負担金	16,386		18,951							
その他										
一般財源	20,641		56,702							
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工		人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	40,103		59,827							
前年度比	-		149.2%							

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	信州まつもとこどもキャンプ事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
				松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	信州まつもとこどもキャンプ事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

原発事故避難者である福島県飯館村の小中学生を対象に、本市で保養と交流を実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

福島第一原子力発電所の事故に伴い、一部避難指示区域解除後も避難を余儀なくされている飯館村の小中学生の保養と市民との交流を行うもの。

期 間:平成29年12月26日(火)~28日(木)

内 容:高綱中学生および松本大学学生ボランティアとの交流、ララ松本での遊泳等

飯館村参加人数:23名(内小学生15名、中学生4名、随行者4名)

<現状に対する認識>

平成30年4月から飯館村で小中学校を再開することが決まったため、こどもキャンプも平成29年度で終了とします。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	対象人数				
指標の設定理由					
目標値	30	30			
実績値	16	19			
達成度	53.3%	63.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	273	407			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	273	407			
人件費(千円)	769	769			
正規	769	0.1	769		
嘱託	0	0			
合計コスト +	1,042	1,176			
前年度比	-	112.9%			

事務事業評価票

事務事業名	トライやるエコスクール事業 (小学校)
-------	------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	トライやるエコスクール事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史、文化、自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すと同時に、学校教育における環境教育の充実を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

各学校で農作物の栽培・飼育活動・地域文化の学習等に取り組み、豊かな人間性を培う活動を行った。また、地域指導者を活用することにより特色ある事業を展開し、地域と交流を深める活動も行った。さらに、環境教育としてリサイクル活動やみどりのカーテン設置等を行った。

【活動事例】

・地域招聘事業(地域の歴史・文化財等の学習・伝統文化体験学習・進路学習等)

・農業・栽培体験学習(スクールファーム、1人一鉢づくり等)

・福祉施設訪問等の地域福祉交流やボランティア活動等

・温暖化対策体験活動(緑のカーテン効果検証、校舎内緑化活動等)

・エコ活動(リサイクル活動、ゴミの分別活動、堆肥づくり等)

・小中学校環境教育支援事業協力団体との活動 ほか

< 現状に対する認識 >

より地域との連携を深め、各学校で特色ある活動や環境教育に取り組めるよう努める。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み	確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	実施校数				
指標の設定理由	特色ある活動の実施校数により事業の取組みが把握できるため				
目標値	28	28	28	28	28
実績値	28	28			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	8,002	7,901			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	8,002	7,901			
人件費(千円)	77	人工	75.9	人工	人工
正規	77	0.01	75.9	0.01	
嘱託	0		0		
合計コスト +	8,079	7,977			
前年度比	-	98.7%			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	要保護・準要保護児童就学援助事業(小学校)
-------	-----------------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	要保護・準要保護児童就学援助事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

就学が困難な児童が等しく教育を受けられるよう、必要な援助を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

学校教育法第19条に基づき、経済的な理由によって就学が困難な児童が等しく教育を受けられるよう、保護者に対して教育費の一部を援助する。学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の援助を実施。

認定者数(H29年度)
・1,571人(全児童数:12,602人、12.4%)

<現状に対する認識>

就学援助費を支給することにより、経済的理由によって就学が困難な児童についても、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	生活困窮家庭の児童を援助するので目標値設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	125,389		134,129							
国・県	166		56							
利用者負担金										
その他										
一般財源	125,223		134,073							
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工		人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	128,465		137,165							
前年度比	-		106.8%							

事務事業評価票

事務事業名	特別支援教育就学奨励事業(小学校)
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援教育就学奨励費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

特別支援学級に就学する、児童の保護者の経済的負担の軽減を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

発達障害、特別な支援を必要とする児童生徒のために設置された特別支援学級に就学する、児童の保護者の経済的負担を軽減するために必要な援助を行う。

学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の一部の援助を実施。

[平成29年度認定者数]

・306人(うち支弁区分 13人)

< 現状に対する認識 >

特別支援学級へ就学する児童生徒について、特殊児童にかんがみ、負担能力の程度に応じて援助をすることにより、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み	確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	8,471	9,206			
国・県	3,916	4,282			
利用者負担金	0	0			
その他	0	0			
一般財源	4,555	4,924			
人件費(千円)	385	759			
人工					
正規	385	0.05	759	0.1	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	8,856	9,965			
前年度比	-	112.5%			

事務事業評価票

事務事業名	遠距離児童通学 (小学校)
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	遠距離児童通学費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

徒歩・自転車通学が困難な児童のために通学費を扶助するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

遠距離(原則4km以上)により徒歩・自転車通学が困難な児童のために、バス、タクシーの借上げや路線バス、電車の定期代、地域公共交通の利用を扶助する。

- バス借上げ
対象校: 山辺小学校、本郷小学校、四賀小学校、梓川小学校、大野川小学校
- タクシー借上げ
対象校: 波田小学校、島内小学校
- 路線バス(定期券扶助)
対象校: 安曇小学校、大野川小学校
- 電車(定期券扶助)
対象校: 波田小学校
- 地域公共交通利用
対象校: 四賀小学校、梓川小学校

< 現状に対する認識 >

通学に困難な児童のため、実情に応じて継続して事業を実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	対象人数(人)				
指標の設定理由	事業の実施状況を直接的に表せるため				
目標値	544	544	523	523	523
実績値	544	523			
達成度	100.0%	96.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	58,455	59,357			
国・県	1,631	1,736			
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	56,824	57,621			
人件費(千円)	769	769			
正規	769	0.1	769	0.1	
嘱託	0	0			
合計コスト +	59,224	60,126			
前年度比	-	101.5%			

事務事業評価票

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

児童生徒に係る研究や調査等を行う団体に対し負担金を支払うことにより、学校教育の充実・向上を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[負担金実績]

(1) 県小学校長会	523,600円
(2) 県中学校校長会	470,550円
(3) 県学校保健会	158,500円(小学校)、91,500円(中学校)
(4) 県図書館協会	103,600円(小学校)、59,200円(中学校)
(5) 県統計教育研究協議会	33,600円(小学校)、19,200円(中学校)
(6) 県公立小中学校事務研究会	84,000円(小学校)、48,000円(中学校)
(7) 中信小学校管楽器研究会	50,000円
(8) 県へき地地域振興協議会	4,300円
(9) 長野県視覚放送教育研究会	176,358円(小学校)、82,992円(中学校)
(10) 病弱虚弱教育連盟	1,000円(小学校)、1,000円(中学校)
(11) 鉢盛中学校	14,437,000円
(12) 県中学校体育連盟	1,181,000円
(13) 県吹奏楽連盟	102,000円
(14) 県中学校高等学校連絡会	28,500円
(15) 松本市幼年教育研究会	134,400円
(16) 北信越中学校総合競技大会	300,000円

< 現状に対する認識 >

今後も学校教育の充実・向上を図るため継続していく。
(北信越中学校総合競技大会はH29年度のみ)

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	団体数				
指標の設定理由	学校教育の充実・向上のための負担実績として把握しやすいため。				
目標値	15	16	15	15	15
実績値	15	16			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	18,298	18,091			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	18,298	18,091			
人件費(千円)	769	759			
正規	769	759			
嘱託	0	0			
合計コスト +	19,067	18,850			
前年度比	-	98.9%			

事務事業評価票

事務事業名	学校営繕(小学校)
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校営繕費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

学校施設の整備と保守を行い、児童の安全を守り、教育環境を充実させるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

学校施設の整備及び保守。

< 現状に対する認識 >

児童のため、環境改善を図ることを目的とし、限られた予算のなかで効果的な事業実施がおこなわれている。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	施設の状況に応じて実施するものであり目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	70,293		70,136							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	70,293		70,136							
人件費(千円)	385	人工	379.5	人工		人工		人工		人工
正規	385	0.05	379.5	0.05						
嘱託	0		0							
合計コスト +	70,678		70,516							
前年度比	-		99.8%							

事務事業評価票

事務事業名	授業用校用備品充実整備(小学校)
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	授業用校用備品充実整備費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

教育内容、教育方法などの変化に伴い、子どもたちをとりまく学校環境の多様化が進んでおり、そのスピードや高機能化に対応するため、学校の授業用校用備品を計画的に整備していくもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 授業用消耗品購入
各校に必要な授業用の消耗品を学校配当予算にて購入。
- 2 学校用備品購入
各校に必要な教材用・校用器具用を学校配当予算にて購入。
ピアノ、印刷機、カーテンを導入計画により購入。
木製机椅子を5年間の購入計画によりスチール机椅子に更新。
- 3 図書購入
児童用・教師用図書の購入。
- 4 学校ICT機器の充実
児童の情報活用能力を育成、ICT機器活用によるわかりやすい授業の促進、教職員の事務負担軽減等を目的とし、環境整備を図る。
ICT機器については、各校パソコン教室用PC35台(児童使用用)、校務用としてクラス数×2+2台を配備している。

< 現状に対する認識 >

学校配当予算により各学校の判断で必要な教材備品・校用備品を計画的に購入。
ピアノ、印刷機、カーテンについては計画的に更新。
ICT機器については概ね5年ごとに更新。
教育指導要領の改訂に対応できるICT機器の導入を検討する必要がある。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	備品の不足や更新による整備であり目標設定は不適当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	234,358		244,763							
国・県										
利用者負担金										
その他			168							
一般財源	234,358		244,595							
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工		人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4						
嘱託	0		0							
合計コスト +	237,434		247,799							
前年度比	-		104.4%							

事務事業評価票

事務事業名	特別支援学級運営 (小学校)
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援学級運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

知的障害、情緒障害、難聴、病虚弱等児童に対応するため、各小学校に設置されている特別支援学級の運営体制の充実を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

特別支援学級用の教材購入等により、特別支援学級の運営体制の充実を図る

平成29年度学級数(平成29年5月1日現在) 25校 89学級
安曇・大野川・奈川を除く

【事業費内訳】(H29実績)
・消耗品費 1,746千円
・備品購入費 1,458千円
・負担金 53千円

< 現状に対する認識 >

特別支援学級の運営を維持し、適切な教育指導を行うため、今後も継続していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	特別支援学級運営費配当校数				
指標の設定理由	運営体制充実のための予算が各学校に配当されているか把握できるため。				
目標値	25	25	25	25	25
実績値	25	25			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	2,954	3,257			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,954	3,257			
人件費(千円)	77	人工	75.9	人工	
正規	77	0.01	75.9	0.01	
嘱託	0		0		
合計コスト +	3,031	3,333			
前年度比	-	110.0%			

事務事業評価票

事務事業名	芝沢小大規模改造事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	清水小大規模改造事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H25 ~ H28

健全な学校施設環境を維持するため、老朽化した施設・設備の大規模改修工事を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

屋根改修、床改修、外断熱化、太陽光発電設備設置、受水槽等の更新、給排水設備の更新、受電設備の更新等を行うもの。

< 現状に対する認識 >

大規模改造事業は平成29年度で終了し、今後は国の方針に沿い、長寿命化改良事業へ転換していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	本事業の整備率				
指標の設定理由	事業の成果を端的に評価できるため				
目標値	60%	100%			
実績値	60%	100%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	330,820		239,003				
国・県	72,262		41,399				
利用者負担金							
その他							
一般財源	258,558		197,604				
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工	人工
正規	769	0.1	759	0.1			
嘱託	0		0				
合計コスト +	331,589		239,762				
前年度比	-		72.3%				

事務事業評価票

事務事業名	並柳小学校大規模改造事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	並柳小学校大規模改造事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H26 ~ H29
--------	-----------

健全な学校施設環境を維持するため、老朽化した施設・設備の大規模改修工事を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

屋根改修、床改修、外断熱化、窓断熱化、受水槽等の更新、給排水設備の更新、受電施設の更新等を行うもの。

< 現状に対する認識 >

大規模改造事業は平成29年度で終了し、今後は国の方針に沿い、長寿命化改良事業へ転換していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	本事業の整備率				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	60%	100%			
実績値	60%	100%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	224,154	219,710			
国・県	59,545	180,393			
利用者負担金					
その他					
一般財源	164,609	39,317			
人件費(千円)	769	人工	759	人工	人工
正規	769	0.1	759	0.1	
嘱託	0		0		
合計コスト +	224,923	220,469			
前年度比	-	98.0%			

事務事業評価票

事務事業名	学校施設整備事業 (小学校費 + 中学校費)
-------	---------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校施設整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

児童が安全、安心な学校生活を送るために、学校施設の整備と保守を行い、教育環境を充実させる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 清水小学校北側県道拡幅
拡幅に伴う、測量設計、樹木の移植、遊具の移設。
- 2 岡田小学校用地取得
岡田小学校の学校敷地内に存在する民有地を用地売買により取得する。

< 現状に対する認識 >

施設の状況及び重要度により、順位付けを行い、順次対応している。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	施設の状況に応じて実施するものであり、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	72,742		58,865							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	72,742		58,865							
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工		人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2						
嘱託	0		0							
合計コスト +	74,280		60,383							
前年度比	-		81.3%							

事務事業評価票

事務事業名	地震防災緊急事業(小学校)
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地震防災緊急事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H28 ~ H32
安全安心な教育環境を整備するため、教室等の非構造部材の耐震化、避難施設としての防災設備の整備などを行うもの。	

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	体育館アリーナ吊り天井耐震化(H28完了) 建築基準法の新基準(H26.4施行)に不適合な施設の改修
2	非構造部材の耐震化 体育館・教室等の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事 (体育館:H28完了)
3	防災機能強化 避難施設としての防災設備の整備
4	中間教室施設の耐震化 中間教室あずさの家の解体(H29完了)

< 現状に対する認識 >

尊い子どもたちの生命を守るため、安全安心な教育環境の整備として学校施設の耐震化を進める。
--

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	本事業の整備率(事業費ベースによる)					
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため					
目標値	4%	7%	51%	96%	100%	
実績値	4%	7%				
達成度	100.0%	100.0%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	52,209	12,484			
国・県	15,971	0			
利用者負担金					
その他					
一般財源	36,238	12,484			
人件費(千円)	769	759			
正規	769	0.1	759	0.1	0.1
嘱託	0	0			
合計コスト +	52,978	13,243			
前年度比	-	25.0%			

事務事業評価票

事務事業名	暖房機更新事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	暖房機更新事業費

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い > 事業計画年度 14 ~ 36

児童生徒の学校生活に直接かかわる暖房機を計画的に更新し改善していくことで、故障を回避し安全性を確保する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

小中学校FF式暖房機の更新
更新計画に基づき小学校と中学校のFF式暖房機を更新
第2期(平成21年度~)更新分2,585台の50.33%が完了(平成29年度)

< 現状に対する認識 >

計画通りに更新ができています。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	暖房機の更新率(%)				
指標の設定理由	事業の成果を端的に評価できるため				
目標値	45.42	50.33	56.52	61.59	67.97
実績値	45.42	50.33			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	20,455	20,963			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	20,455	20,963			
人件費(千円)	1,538	1,518			
人工	0.2	0.2			
正規	1,538	1,518			
嘱託	0	0			
合計コスト +	21,993	22,481			
前年度比	-	102.2%			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	四賀地区廃校4小学校整備事業
-------	----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀地区廃校4小学校整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H25 ~

平成25年4月四賀小学校の開校に伴い廃校になった四賀地区4小学校について、松本市未利用市有地活用3原則等に基づき、耐久性や耐震性が不足する施設は解体を行い、用地測量等を行って、所管替えるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

事業内容

- 1 事業年度: H25 ~
- 2 事業計画(実績): H25 中川小体育館・プールの解体
 錦部小・中川小・五常小の土地測量
 :H26 会田小の土地測量
 :H29 会田小学校舎・体育館・プールの解体
 :H31以降 錦部小学校舎等の解体、五常小体育館の解体

< 現状に対する認識 >

H31以降の錦部小、五常小の解体について、後利用を考慮した解体時期の検討が必要。

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	5		将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	整備した学校数(耐久性や耐震性のない施設の解体)				
指標の設定理由	事業の成果を端的に評価できるため				
目標値	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0
実績値	0	1			
達成度	#DIV/0!	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		74,629							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		74,629							
人件費(千円)	0	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	0	0	759	0.1						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	0		75,388							
前年度比	-		-							

事務事業評価票

事務事業名	プール整備事業 (小学校費 + 中学校費)
-------	--------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	プール整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H1 ~

学校プール施設の老朽化、機能低下に対応するため、改築工事又は改修工事を行い、教育環境の改善及び建物耐久性の確保を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 筑摩野中学校
プール改築工事 (水張面積375㎡、附属棟(便所・更衣室等)約101㎡)
- 2 開明小学校
プール循環濾過設備更新、及びそれに伴う給排水設備・電気設備の改修
- 3 二子小学校
プール循環濾過設備更新、及びそれに伴う給排水設備・電気設備の改修

プール整備事業計画に沿って、順次整備していく。

プール整備事業計画に沿って、順次整備していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	プール改築完了数				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)	プール改修完了数				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	2	2	2	0	1
実績値	2	2			
達成度	100.0%	100.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	222,260		195,588				
国・県	21,882		20,516				
利用者負担金							
その他							
一般財源	200,378		175,072				
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工	人工
正規	769	0.1	759	0.1			
嘱託	0		0				
合計コスト +	223,029		196,347				
前年度比	-		88.0%				

事務事業評価票

事務事業名	トライやるエコスクール事業 (中学校)
-------	------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	トライやるエコスクール事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史、文化、自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すと同時に、学校教育における環境教育の充実を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

各学校で農作物の栽培・飼育活動・地域文化の学習等に取り組み、豊かな人間性を培う活動を行った。また、地域指導者を活用することにより特色ある事業を展開し、地域と交流を深める活動も行った。さらに、環境教育としてリサイクル活動やみどりのカーテン設置等を行った。

【活動事例】

- ・地域招聘事業(地域の歴史・文化財等の学習・伝統文化体験学習・進路学習等)
- ・農業・栽培体験学習(スクールファーム、1人一鉢づくり等)
- ・福祉施設訪問等の地域福祉交流やボランティア活動等
- ・温暖化対策体験活動(緑のカーテン効果検証、校舎内緑化活動等)
- ・エコ活動(リサイクル活動、ゴミの分別活動、堆肥づくり等)
- ・小中学校環境教育支援事業協力団体との活動

ほか

< 現状に対する認識 >

より地域との連携を深め、各学校で特色ある活動や環境教育に取り組めるよう努める。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	実施校数				
指標の設定理由	特色ある活動の実施校数により事業の取組みが把握できるため				
目標値	20	20	20	20	20
実績値	20	20			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	8,686	8,358			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	8,686	8,358			
人件費(千円)	77	人工	75.9	人工	人工
正規	77	0.01	75.9	0.01	
嘱託	0		0		
合計コスト +	8,763	8,434			
前年度比	-	96.2%			

事務事業評価票

事務事業名	学校行事運営(姫路市・松本市中学生交歓キャンプ)
-------	--------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校行事運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

姉妹都市である姫路市と松本市の中学生が合宿生活を営むことによって、相互の親睦を図り、友情を深めながら交流の輪を広げ、もって姉妹都市交流の实をあげる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 参加者	松本市及び姫路市の中学生35名ずつ、計70名及び教職員
2 日程	夏休み期間中3泊4日
3 実施内容	松本市での開催時は、上高地の散策や松本城等市内を散策。 姫路市での開催時は、姫路城の見学、海洋体験等を実施。
4 その他	松本市と姫路市で毎年相互に開催。昭和55年から実施している。

< 現状に対する認識 >

30年以上続く伝統的な行事として、今後も継続して実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	開催回数				
指標の設定理由	実施状況を数値として把握できるため。				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	600	3,050			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	600	3,050			
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	
嘱託	0		0		
合計コスト +	2,138	4,568			
前年度比	-	213.7%			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	要保護・準要保護生徒就学援助事業(中学校)
-------	-----------------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	要保護・準要保護生徒就学援助事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

就学が困難な生徒が等しく教育を受けられるよう、必要な援助を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

学校教育法第19条に基づき、経済的な理由によって就学が困難な生徒が等しく教育を受けられるよう、保護者に対して教育費の一部を援助する。学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の援助を実施。

認定者数(H29年度)
・1,017人(全生徒数: 5,941人、18.0%)

<現状に対する認識>

就学援助費を支給することにより、経済的理由によって就学が困難な生徒についても、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	生活困窮家庭の生徒を援助するので目標値設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	126,613		111,180							
国・県	167		152							
利用者負担金										
その他										
一般財源	126,446		111,028							
人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工		人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	130,458		114,975							
前年度比	-		88.1%							

事務事業評価票

事務事業名	特別支援教育就学奨励事業(中学校)
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援教育就学奨励事業

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

特別支援学級に就学する、生徒の保護者の経済的負担の軽減を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

発達障害、特別な支援を必要とする児童生徒のために設置された特別支援学級に就学する、生徒の保護者の経済的負担を軽減するために必要な援助を行う。

学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費等の一部の援助を実施。

[平成29年度認定者数]
・95人(うち支弁区分 4人)

< 現状に対する認識 >

特別支援学級へ就学する児童生徒について、特殊児童にかんがみ、負担能力の程度に応じて援助をすることにより、等しく教育を受ける機会を得ることができている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	3,558	4,558			
国・県	1,675	2,114			
利用者負担金	0	0			
その他	0	0			
一般財源	1,883	2,444			
人件費(千円)	385	759			
人工	0.05	0.1			
正規	385	759			
嘱託	0	0			
合計コスト +	3,943	5,317			
前年度比	-	134.9%			

事務事業評価票

事務事業名	遠距離生徒通学 (中学校)
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	遠距離生徒通学費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

徒歩・自転車通学が困難な生徒のために通学費を扶助するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

遠距離(原則6km以上)により徒歩・自転車通学が困難な生徒のために、バス、タクシーの借上げや路線バスの定期代、地域公共交通利用を扶助する。

- バス借上げ
対象校: 山辺中学校、会田中学校、梓川中学校、大野川中学校
- タクシー借上げ
対象校: 開成中学校、女鳥羽中学校
- 路線バス(定期券扶助)
対象校: 安曇中学校、大野川中学校
- 地域公共交通利用
対象校: 会田中学校、梓川中学校

< 現状に対する認識 >

通学に困難な生徒のため、実情に応じて継続して事業を実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	対象人数(人)				
指標の設定理由	事業の実施状況を直接的に表せるため				
目標値	129	129	101	101	101
実績値	129	101			
達成度	100.0%	78.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	13,572	13,903			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	13,572	13,903			
人件費(千円)	769	769			
正規	769	0.1	769	0.1	
嘱託	0	0			
合計コスト +	14,341	14,672			
前年度比	-	102.3%			

事務事業評価票

事務事業名	学校営繕(中学校)
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校営繕費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

学校施設の整備と保守を行い、生徒の安全を守り、教育環境を充実させるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

学校施設の整備及び保守。

< 現状に対する認識 >

児童のため、環境改善を図ることを目的とし、限られた予算のなかで効果的な事業実施がおこなわれている。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	施設の状況に応じて実施するものであり目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	52,912		52,124							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	52,912		52,124							
人件費(千円)	385	人工	379.5	人工		人工		人工		人工
正規	385	0.05	379.5	0.05						
嘱託	0		0							
合計コスト +	53,297		52,504							
前年度比	-		98.5%							

事務事業評価票

事務事業名	授業用校用備品充実整備(中学校)
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	授業用校用備品充実整備費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

教育内容、教育方法などの変化に伴い、子どもたちをとりまく学校環境の多様化が進んでおり、そのスピードや高機能化に対応するため、学校の授業用校用備品を計画的に整備していくもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 授業用消耗品購入
各校に必要な授業用の消耗品を学校配当予算にて購入。
- 2 学校用備品購入
各校に必要な教材用・校用器具用を学校配当予算にて購入。
ピアノ、印刷機、カーテンを導入計画により購入。
- 3 図書購入
児童用・教師用図書の購入。
- 4 学校ICT機器の充実
生徒の情報活用能力を育成、ICT機器活用によるわかりやすい授業の促進、教職員の事務負担軽減等を目的とし、環境整備を図る。
ICT機器については、各校パソコン教室用PC35台(生徒使用用)、校務用として常勤職員分を配備している。

< 現状に対する認識 >

学校配当予算により各学校の判断で必要な教材備品・校用備品を計画的に購入。
ピアノ、印刷機、カーテンについては計画的に更新。
ICT機器については概ね5年ごとに更新。
教育指導要領の改訂に対応できるICT機器の導入を検討する必要がある。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	備品の不足や更新により整備するものであり目標設定は不適当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	168,342		169,985							
国・県										
利用者負担金										
その他			1,133							
一般財源	168,342		168,852							
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3						
嘱託	0		0							
合計コスト +	170,649		172,262							
前年度比	-		100.9%							

事務事業評価票

事務事業名	特別支援学級運営 (中学校)
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援学級運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

知的障害、情緒障害、難聴、病虚弱等児童に対応するため、各中学校に設置されている特別支援学級の運営体制の充実を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

特別支援学級用の教材購入等により、特別支援学級の運営体制の充実を図る

平成29年度学級数(平成29年5月1日現在) 16校 46学級
安曇・大野川・奈川を除く

【事業費内訳】(H29実績)

- ・消耗品費 831千円
- ・備品購入費 856千円
- ・負担金 34千円

< 現状に対する認識 >

特別支援学級の運営を維持し、適切な教育指導を行うため、今後も継続していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み	確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	特別支援学級運営費配当校数				
指標の設定理由	運営体制充実のための予算が各学校に配当されているか把握できるため。				
目標値	16	16	16	16	16
実績値	16	16			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	1,574		1,721							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,574		1,721							
人件費(千円)	77	人工	76	人工		人工		人工		人工
正規	77	0.01	76	0.01						
嘱託	0		0							
合計コスト +	1,651		1,797							
前年度比	-		108.8%							

事務事業評価票

事務事業名	波田中学校大規模改造事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	波田中学校大規模改造事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H26 ~ H29
--------	-----------

健全な学校施設環境を維持するため、老朽化した施設・設備の大規模改修工事を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

屋根改修、床改修、外断熱化、窓断熱化、太陽光発電設備設置、受水槽等の更新、給排水設備の更新、受電施設の更新等を行うもの。

< 現状に対する認識 >

大規模改造事業は平成29年度で終了し、今後は国の方針に沿い、長寿命化改良事業へ転換していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	整備工事の完了率				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	60%	100%			
実績値	60%	100%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	245,245	359,350			
国・県	58,694	75,315			
利用者負担金					
その他					
一般財源	186,551	284,035			
人件費(千円)	769	759			
正規	769	759			
嘱託	0	0			
合計コスト +	246,014	360,109			
前年度比	-	146.4%			

事務事業評価票

事務事業名	地震防災緊急事業(中学校)
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地震防災緊急事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～H31

安全安心な教育環境を整備するため、教室等の非構造部材の耐震化、避難施設としての防災設備の整備などを行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 体育館アリーナ吊り天井耐震化(H28完了)
建築基準法の新基準(H26.4施行)に不適合な施設の改修
- 2 非構造部材の耐震化
体育館・教室等の非構造部材の調査・診断・設計及び改修工事
(体育館:H28完了)
- 3 防災機能強化
避難施設としての防災設備の整備
- 4 中間教室施設の耐震化
中間教室あずさの家の解体

< 現状に対する認識 >

尊い子どもたちの生命を守るため、安全安心な教育環境の整備として学校施設の耐震化を進める。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	本事業の整備率(事業費ベースによる)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	4%	7%	51%	96%	100
実績値	4%	7%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	4,114	4,320			
国・県	0	0			
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,114	4,320			
人件費(千円)	769	759			
正規	769	759			
嘱託	0	0			
合計コスト +	4,883	5,079			
前年度比	-	104.0%			

事務事業評価票

事務事業名	学校施設長寿命化改良事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校施設長寿命化改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~

国のインフラ長寿命化計画の策定を受け、学校施設についても大規模改造～延命へ転換し、築40年以上経過した施設を今後30年以上使用するため、構造体の耐久化とインフラ設備の更新を行うもの。また、建物の延命化により、建物更新時に係る費用の平準化を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 劣化度調査
建物の劣化の状態を調査し、事業実施の判断を行う。また、工事の概算工事費の算出をおこなう。
- 実施設計
劣化度調査をもとに、長寿命化改良工事の実施設計をおこなう。
- 工事
長寿命化改良工事の実施(工期 2年～3年)
- H29実績
劣化度調査を中学校1校で実施

< 現状に対する認識 >

施設の劣化の状況を判断し、計画的に進める。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	612	学校環境の整備・充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2	子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み			確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業の整備率(完了棟数/予定棟数)				
指標の設定理由	事業成果を端的に評価できるため				
目標値	0%	0%	3.90%	11.70%	13.40%
実績値	0%	0%			
達成度	-	-			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	35,802		8,532							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,802		8,532							
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0		0							
合計コスト +	36,571		9,291							
前年度比	-		25.4%							

事務事業評価票

事務事業名	補助金事業
-------	-------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

保護者の負担を軽減し、私立学校等の振興をはかるもの。また、安曇・奈川地区への定住促進をはかるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

【補助実績】	
1 私立高等学校運営費補助金	11,304,900円
(1)松商学園高等学校(3,109,000円)、(5)信濃むつみ高等学校(1,129,000円)	
(2)松本第一高等学校(2,029,900円)、(6)松本秀峰中等教育学校(1,115,800円)	
(3)創造学園高等学校(1,485,400円)、(7)東京都市大学塩尻高等学校(1,181,400円)	
(4)エクセラシオン高等学校(1,171,900円)、(8)海大学付属第三高等学校(82,500円)	
定額補助(市内に設置された高校)……………1校あたり年額700千円	
生徒数割り補助(本市に住所を有する生徒が在籍する高校)	
……………生徒1人あたり年額3,300円	
2 朝鮮学園運営費補助金	1,765,100円
初中級学校分 定額補助700千円 + 生徒数割補助122,100円(@3,300円×37人)	
付属幼稚園分 定額補助700千円 + 園児割補助243,000円(@27,000円×9人)	
3 高校生就学補助金	2,556,000円
安曇地区 25名 1,128,000円、奈川地区 17名 1,428,000円	
4 海外留学生奨学金	80,000円
@80,000円 × 1名分 = 80,000円	

< 現状に対する認識 >

保護者負担の軽減を図るため、今後も継続して実施予定。
(平成29年度から学校図書館司書は市雇用となったため、図書館職員賃金補助金は廃止)

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	補助事業数				
指標の設定理由	補助実施状況を把握できるため。				
目標値	5	4	4	4	4
実績値	5	4			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	58,387	15,706			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	58,387	15,706			
人件費(千円)	1,538	1,518			
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	
嘱託	0	0			
合計コスト +	59,925	17,224			
前年度比	-	28.7%			

事務事業評価票

事務事業名	児童生徒保健管理
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	児童生徒保健管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

児童生徒及び教職員の健康管理をするため

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 児童生徒及び教職員の健康管理・健康教育
児童生徒及び教職員健康診断の実施等
- 近年増加している子どもの生活習慣病の予防対策
小学4年生、中学2年生の血液検査の実施
- 健康管理上必要な検査の実施や消耗品、検査機器購入等
学校環境衛生検査(ホルムアルデヒド等)、保健室用消耗品、備品の購入

< 現状に対する認識 >

児童生徒の健康管理のため、法改正等に則りながら継続して事業を実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	健康診断を実施した児童生徒数				
指標の設定理由	健康管理できている児童生徒数を数値化して客観的に把握できるため。				
目標値	18,859	18,541	18404	18267	18109
実績値	18,720	18,415			
達成度	99.3%	99.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	62,535	55,750			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	62,535	55,750			
人件費(千円)	6,152	6,072			
正規	6,152	6,072			
嘱託	0	0			
合計コスト +	68,687	61,822			
前年度比	-	90.0%			

事務事業評価票

事務事業名	災害共済給付事務
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	災害共済給付事務

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

スポーツの振興及び児童、生徒の健康の保持促進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

小学校、中学校の管理下における児童生徒等の災害に関する必要な給付に係る事務。

[平成29年度]

児童生徒災害共済掛金(歳出)・・・17,335,335円

児童生徒災害共済掛金負担金(歳入)・・・4,855,800円

< 現状に対する認識 >

継続して実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	学校事務を支援する内部事務であり目標値設定不適当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		0							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	2,307		2,277							
前年度比	-		98.7%							

事務事業評価票

事務事業名	松本市各種競技会、発表会等出場者祝金(小学校)
-------	-------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	各種発表会等出場者祝金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

祝金を交付し芸術文化活動の振興を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市に住所を有する小学生が芸術文化活動において、県大会より上位の大会に出場した場合、祝金を交付し芸術文化活動の振興を図るもの。

[H29年度実績]
 個人 26件 392,780円
 団体 6件 2,932,285円

H30.5.30現在

< 現状に対する認識 >

芸術文化の振興に寄与しており、今後も継続して実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	2,000		3,325							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,000		3,325							
人件費(千円)	759	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	759	0.1	759	0.1						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	2,759		4,084							
前年度比	-		148.0%							

事務事業評価票

事務事業名	松本市各種競技会、発表会等出場者祝金(中学校)
-------	-------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	各種発表会等出場者祝金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

祝金を交付し芸術文化活動の振興を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市に住所を有する中学生が芸術文化活動において、県大会より上位の大会に出場した場合、祝金を交付し芸術文化活動の振興を図るもの。

[H29年度実績]

個人 5件 93,890円
 団体 12件 3,297,030円

H30.5.30現在

< 現状に対する認識 >

芸術文化の振興に寄与しており、今後も継続して実施していく。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	目標値設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	2,939		3,390							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,939		3,390							
人件費(千円)	759	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	759	0.1	759	0.1						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	3,698		4,149							
前年度比	-		112.2%							

事務事業評価票

事務事業名	就学事務
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

学校教育法等に基づき、児童生徒の学齢簿の作成や、住民異動に伴う学籍・就学の管理を行うことにより、就学状況を把握するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

児童生徒の転入学、学籍等に関わる事務。

- ・学齢簿の整備
- ・通学区弾力化制度
- ・学校の指定
- ・指定校変更
- ・区域外就学
- ・外国籍児童生徒の就学

< 現状に対する認識 >

市内児童生徒の学齢簿等について、システムにより管理・処理することにより、正確かつ迅速な就学事務を行うことができている。
通学区弾力化制度については、利用状況の検証を行う。

部局名	教育部	課名	学校教育課	課CD	13150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	成果を求めるものではないため目標値の設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		0							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	3,076	人工	3,076	人工		人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4						
嘱託	0		0							
合計コスト +	3,076		3,076							
前年度比	-		100.0%							

学校指導課

課長 横田 則雄

事務事業評価票

事務事業名	人権教育推進事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	人権教育推進費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

児童生徒が人権感覚を培い、差別のない社会を築くこと。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようとする意欲 と実践力をもった人間を育てることを目指し、教職員を対象に推進委員会及び研修会等を実施する。
- (1) 学校人権教育研究協議会等
- ア 人権教育推進委員会全体会 2回
 - イ 学校人権教育研究協議会(県中信教育事務所研修を市の研修として位置づけ)
- 参加実績(松本市参加者数/中信地区参加者数)
H28 30人/158人、H29 51人/160人
- (2) 学校人権教育担当指導主事研修
- ア 人権リーダー養成・部落問題講座(長野市:3日間)に参加
 - イ 人権教育指導方法研究会(長野市・松本市:年3回)に参加
- (3) 全国人権同和教育研究大会
第68回全国人権・同和教育研究大会(島根県松江市)参加
- (4) 学校人権教育実践記録発行
- ア 教師自身の豊かな人権感覚実践記録集
 - イ 学校人権教育実践記録
- (5) その他
- ア 交流体験教室(フロアホッケー)の開催
 - イ 平和を祈る詩の朗読会への協力

< 現状に対する認識 >

人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようとする意欲と実践力をもった人間を育てるため、人権課題に即した教職員の研修や各学校への周知に努めたい。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	307	154			
国・県	50				
利用者負担金					
その他					
一般財源	257	154			
人件費(千円)	1,000	人工	1,000	人工	人工
正規	1,000	0.13	1,000	0.13	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	1,307	1,154			
前年度比	-	88.3%			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	特別支援教育推進事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	特別支援教育推進費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

特別な支援を必要とする児童生徒に適切な学習環境を整える。周囲の児童生徒への影響を最小限に抑え、安定した学級・学校経営へつなげる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

小中学校の特別支援教育を推進する。

(1) 松本市心身障害児就学支援委員会の運営
 29年度 7回開催
 (6月22日、9月7日、10月5日、11月9日、12月7日、1月18日、2月15日)
 ・医療機関の診断書や知能検査(WISC-)結果を支援委員会での判断資料とした。
 ・就学支援委員会への判断依頼件数
 28年度291件、29年度321件

(2) 特別支援教育支援員の研修
 29年度 2回開催(6月27日、1月23日) 自立支援教員、中間教室適応指導員と合同で実施

(3) 「ふれあい教育展」(特別支援教育展)の開催
 ア 特別支援学校、特別支援学級に在籍する児童生徒の学習発表及び交流
 地域との触れあいを通じて、特別支援教育への理解が深まることを期待して「ふれあい教育展」の運営を業務委託
 (委託先:松本市校長会特別支援教育担任者会、委託料:300千円)
 イ 和太鼓演奏の講師謝礼 150千円
 指導回数10回(事務当番校:開明小学校)
 ウ 「ふれあい教育展」開催内容
 期日:10月13日、10月14日 会場:あがの森公園
 内容:学習活動で制作した作品の展示や販売活動、和太鼓演奏の発表等

< 現状に対する認識 >

障害者差別解消法の施行に伴い、合理的配慮や基礎的環境整備等、インクルーシブ教育システムの構築の必要性が一層高まると考えられる。特別支援教育の充実に向け、関係職員の支援力向上や市民の特別支援教育に対する関心の向上に努めたい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	38,066	626			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	38,066	626			
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	41,142	3,662			
前年度比	-	8.9%			

事務事業評価票

事務事業名	英語指導助手配置事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	英語指導助手配置事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

外国人講師と会話をすることで、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につける。また、交流をはかることで異文化を知り、児童生徒の国際感覚の素地をつくること。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

小中学校に外国人の指導助手を配置する。
 (1) 小学校 コミュニケーション能力の素地を養う。
 (2) 中学校 コミュニケーション能力の向上と国際感覚を身につけた人間性豊かな生徒の育成
 平成29年度に平成30年度以降3カ年における小中学校への指導助手派遣者を公募型プロポーザルにて選考。

ALT配置時間/年間

年度	29年度	30年度	31年度	32年度
小学校3・4年	0時間	15時間	15時間	18時間
小学校5・6年	35時間	35時間	35時間	35時間
中学校各学年	25時間	25時間	25時間	25時間

< 現状に対する認識 >

ALTの派遣人数は小学校6名、中学校6名、安曇・奈川周辺地区小中学校2名。
 平成32年度以降の新学習指導要領(平成30年度~31年度は移行期間)に実施に伴い、市内小学校3,4年生へ向けた指導助手派遣を拡充。ALTの派遣人数は小学校8名、中学校及び小中併設校は9名配置予定。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み	確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	51,890	51,883			
国・県					
利用者負担金					
その他		2,000			
一般財源	51,890	49,883			
人件費(千円)	1,576	人工	1,556	人工	人工
正規	1,576	0.205	1,556	0.205	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	53,466	53,439			
前年度比	-	99.9%			

事務事業評価票

事務事業名	中間教室管理運営事業 (H28不登校児童生徒対策事業から名称変更)
-------	--------------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	不登校児童生徒対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

不登校児童生徒及び学校復帰ができる児童生徒への支援

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- (1) 中間教室の運営
鎌田中間教室、山辺中間教室、あかり教室の3中間教室を運営
ア 消耗品(文具、医薬品、教材等)
イ 調理実習費
ウ 燃料費
エ 修繕費
オ 電話料
- (2) 中間教室通室児童・生徒数
平成28年度 小4人・中36人、平成29年度 小4人・中39人
- (3) 不登校支援アドバイザーによる学校訪問・支援
学校訪問回数 小学校130回、中学校92回
訪問面談(校長、教頭、担任、保護者等)222回、授業参観799回、
中間教室・はぐルッポ・児童センター訪問43回
- (4) スクールソーシャルワーカーの派遣
学校訪問 小学校21回、中学校26回
支援会議 小学校3回、中学校7回
教育相談 7回
医療機関と連携したケース会議5回
- (5) 医師による教育相談(元気アップ教育相談)
宮坂医師担当:5月19日、9月22日、12月1日、2月2日
東医師担当:6月28日、10月25日、1月24日

< 現状に対する認識 >

市のSSWは、1名雇用しておりますが、県のSSWと合わせてもSSW1名につき中学校6～7校担当することとなり、SSWの負担の解消には至らない状況です。各学校のニーズや一人ひとりの児童生徒へのきめ細やかな対応のためにも、更にSSWの増員と資質向上に向けた研修が必要です。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	5,051		832				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	5,051		832				
人件費(千円)	4,749	人工	4,752	人工		人工	
正規	2,384	0.31	2,353	0.31			
嘱託	2,366	0.83	2,399	0.83			
合計コスト +	9,800		5,584				
前年度比	-		57.0%				

事務事業評価票

事務事業名	学校支援事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	学校支援事業費

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
学校教育の充実を目的に、教職員の能力向上及び児童生徒への教育支援事業に取り組むもの。		

< 事業の実施内容及び活動指標 (実績値) >
(1) 学校指導充実のための庶務的事務
(2) 公立小中学校への市費教職員の配置
ア 自立支援教員 (小学校・中学校)
イ 中学学力向上推進教員
ウ 特別支援教育支援員
・特別支援教育支援員
・看護支援員 (医療的ケア)
・日本語教育支援員
エ 中間教室適応指導員
(3) 教職員の能力向上のための研修
ア 性教育に携わる小中学校養護教諭及び性教育担当教員向けの研修事業
イ 市立学校教職員研修事業 (松本市教委独自)
ウ 指導主事会議
(4) 多言語通訳・翻訳 (筆耕翻訳)
(5) 文化交流年絵画交換事業
(6) H30版「わたしたちの松本市」副読本印刷配布 (小学校3年生対象)
(7) 日本語を母語としない児童生徒支援事業 (委託) コーディネーター2人
(8) 松本城・旧開智学校絵画コンクール事業
(9) 松本市校長会、教頭会への補助事業
校長会 940,000円 教頭会 150,400円

< 現状に対する認識 >
H29より、小学校適応指導・学習指導改善教員及び中学校適応指導教員を「自立支援教員」と名称変更し、不登校状態の改善等に向けて、より充実した支援に取り組んでいます。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち	主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	9,659	57,499				
国・県	1,050	567				
利用者負担金						
その他						
一般財源	8,609	56,932				
人件費(千円)	3,153	人工 3,112	人工	人工	人工	
正規	3,153	0.41	3,112	0.41		
嘱託	0	0	0	0		
合計コスト +	12,812	60,611				
前年度比	-	473.1%				

事務事業評価票

事務事業名	コミュニティスクール事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	コミュニティスクール事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

学校・家庭・地域の連携協働による持続可能な学校支援の仕組みを構築すること。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

(1)松本版・信州型コミュニティスクール
 市内公立小中学校全校に「コミュニティスクール運営委員会」を設置。
 特色ある学校、地域に開かれた信頼される学校を目指して、地域の人材を活用した事業に取り組む。

平成29年度運営委員会設置校 47校

・生涯学習課の学校サポート事業の予算と学校指導課のCS事業の予算を生涯学習課に一本化することを決定。H30より運用。

・コミュニティスクール研修会の実施
 1月11日(木) 各CS運営委員会より106名参加
 参加人数
 平成28年度 129人、平成29年度106人

・PTA連合会において、コミュニティスクールの仕組み及び機能を説明し、各運営委員会の実践事例等を紹介。

< 現状に対する認識 >

・各地区の取組について事例等の収集に努め、研修会や指導課便り等でよい取組等を広めていく必要がある。
 ・学校によっては、子どもたちが地域の行事等に企画の段階から関わっている地域もあり、そのような活動をどの地域でも取り組んでもらえるようにしていく。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	613	子どもを豊かに育む食育の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み		町会との協働による支えあえる地域づくり
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	1,188		1,073							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,188		1,073							
人件費(千円)	692	人工	683	人工		人工		人工		人工
正規	692	0.09	683	0.09						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	1,880		1,756							
前年度比	-		93.4%							

事務事業評価票

事務事業名	学校行事運営(小学校)
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校行事運営費(小学校)

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

小学校における学校行事のうち、教育委員会の方針によって実施するものの費用を支出し、保護者負担の軽減を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- (1) 卒業音楽会(6年生)
合唱の成果を発表する卒業音楽会の消耗品費の配当や送迎バスの手配等。
- (2) 教育文化センター(全5年生対象)1日学習の送迎バス
教育文化センターにて、理科授業を実施する1日学習の送迎バスの手配。
- (3) 花を育てる心育成活動
児童の花を育てる心の育成を目的に、事業実施のための消耗品費を配当するもの。なお、教育会主催で各校花壇の写真展を開催(4カ所程度)。
- (4) 山間3校(安曇、大野川、奈川)の行事用送迎バスの手配
- (5) 奈川小学校行事用送迎車両運転業務委託
- (6) 巡回劇場(隔年実施) 29年度は実施なし

< 現状に対する認識 >

事業内容の見直しをしながら、より充実した学習機会の提供に努めます。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	6,500		6,455							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,500		6,455							
人件費(千円)	807	人工	807	人工		人工		人工		人工
正規	807	0.105	807	0.105						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	7,307		7,262							
前年度比	-		99.4%							

事務事業評価票

事務事業名	補助金(小学校)
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち		主な取組み	確かな学力が身につく学校環境の整備
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

・教科及び教科指導の研究へ補助し、学習指導における教育効果の向上を図る。
 ・学校行事へ補助し、学習経験の充実や保護者負担の軽減を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

(1) 小学校教科研究費補助
 H29 学校割 @25,000円 × 28校 = 700,000円
 H29 教員割 @927円 × 636人 = 589,572円
 市補助 1,289,572円

(2) 小学校鑑賞音楽会補助
 H29 @200円 × 12,602人(児童数) = 2,520,400円
 全事業費 14,768,440円
 市補助 2,520,400円

< 現状に対する認識 >

事業実績の審査を徹底し、適切な補助金支出に努めます。

< 指標の達成状況 >	総合評価				
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	4,077	3,810			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,077	3,810			
人件費(千円)	327	人工	327	人工	人工
正規	327	0.0425	327	0.0425	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	4,404	4,137			
前年度比	-	93.9%			

事務事業評価票

事務事業名	人権教育推進事業(小学校)
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	人権教育推進費(小学校)

<事業の狙い>

事業計画年度

～

児童が人権感覚を培い、差別のない社会を築くこと。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

各小学校において人権教育の推進を図るとともに、市内5ブロックで継続している中心校による公開研究授業を行うもの。

- (1) ブロック中心校の公開授業のための消耗品費を配当
平成29年度ブロック中心校1校
今井小学校 10,000円
- (2) 児童用副教材「あけぼの」の全面改定による更新
(平成29年度は中学年版が改定)
3学年児童数分 789冊
教師用 1校1冊×28校

<現状に対する認識>

人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようする意欲と実践力をもった人間を育てるため、各校で人権教育を推進するとともに、研究、修養に努める。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
	主な取組み	○子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	582		340				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	582		340				
② 人件費(千円)	77	人工	75.9	人工		人工	
正規	77	0.01	75.9	0.01			
嘱託	0	0	0	0			
合計コスト①+②	659		416				
前年度比	—		63.1%				

事務事業評価票

事務事業名	学校行事運営(中学校)
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校行事運営費(中学校)

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

中学校における学校行事の内、教育委員会の方針によって実施するものの費用を支出し、学習経験の提供と保護者負担の軽減を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- (1) 高雄市中学生交流事業
市内中学生と高雄市中学生の交流を図るもの。
平成29年5月11日～15日 教育訪問団を結成し高雄市を訪問
平成29年9月2日～5日 高雄市音楽教育訪問団受入れ
- (2) 中学校体育連盟による市中大会
中学校体育大会事務局(当番校)への消耗品費や審判謝礼の配当。賞状の印刷や送迎バスの手配をするもの。
- (3) 教育文化センター(全1学年対象)1日学習の送迎バス
教育文化センターにて、理科授業を実施する1日学習の送迎バスの手配。
- (4) 会田中学校水泳授業生徒送迎バス
当該中学校生徒をB & G四賀海洋センターへ送迎するもの。
- (5) 花を育てる心育成活動
児童の花を育てる心の育成を目的に、事業実施のための消耗品費を配当するもの。なお、教育会主催で各校花壇の写真展を開催(4カ所程度)
- (6) 奈川中学校行事用送迎車両運転業務委託

< 現状に対する認識 >

事業内容の見直しをしながら、より充実した学習機会の提供に努めます。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	5,038	8,217			
国・県					
利用者負担金		720			
その他					
一般財源	5,038	7,497			
人件費(千円)	807	人工	807	人工	人工
正規	807	0.105	807	0.105	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	5,845	9,024			
前年度比	-	154.4%			

事務事業評価票

事務事業名	補助金(中学)
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

・教科及び教科指導の研究へ補助し、学習指導における教育効果の向上を図る。
 ・学校行事や山間校の部活動へ補助し、学習経験の充実や保護者負担の軽減を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- (1) 中学校教科研究費補助
 H29 学校割 @25,000 × 19校 = 475,000円
 教員割 @1,027 × 407人 = 404,638円
 市補助 879,638円
- (2) 中学校鑑賞音楽会補助
 H29 @400円 × 5,939人(生徒数) = 2,375,600円
 全事業費 5,861,425円
 市補助 2,375,600円
- (3) 大野川中学校部活補助
 H29 60,000円

< 現状に対する認識 >

事業実績の審査を徹底し、適切な補助金支出に努めます。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
主な取組み		確かな学力が身につく学校環境の整備
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	3,382		3,316							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,382		3,316							
人件費(千円)	327	人工	327	人工		人工		人工		人工
正規	327	0.04	327	0.04						
嘱託	0	0.00	0	0.00						
合計コスト +	3,709		3,643							
前年度比	-		98.2%							

事務事業評価票

事務事業名	人権教育推進事業(中学)
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	人権教育推進費(中学)

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

お互いの実践を見合うことで研修を重ね実践力を高めること。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

各中学校において人権教育の推進を図るとともに、市内5ブロックで継続している中心校による公開研究授業を行うもの。

(1) ブロック中心校の公開授業のための消耗品費を配当
平成29年度ブロック中心校4校
開成中学校、清水中学校、高綱中学校、丸ノ内中学校 各10,000円

(2) 中学生用副教材「あけぼの」の配布数を学級最大数になるよう購入
各校一クラスの最大生徒用分 1冊500円×464冊

< 現状に対する認識 >

人権尊重の精神を涵養し、様々な人権問題を自らの課題として解決しようする意欲と実践力をもった人間を育てるため、各校で人権教育を推進するとともに、研究、修養に努める。

部局名	教育部	課名	学校指導課	課CD	13160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	2 子育て支援を充実し、次代を担う子どもたちを健やかに育みます
政策の方向(まちの姿)	1	平和、人権を尊重するまち		主な取組み	子どもの権利を擁護し、虐待やいじめを撲滅
基本施策(個別目標)	212	人権尊重の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	103	261			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	103	261			
人件費(千円)	77	人工	75.9	人工	
正規	77	0.01	75.9	0.01	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	180	337			
前年度比	-	187.3%			

生涯学習課

課長 栗田 正和

事務事業評価票

事務事業名	青少年ホーム事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	青少年ホーム事業費

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

15歳から35歳未満の青少年を対象に、各種講座やイベントを通してキャリアアップや、仲間づくりや交流、社会参画の促進を図り、若者の居場所づくりを進める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 相談事業(ヤングキャリアメンター)
産業カウンセラー等による人生問題、職業生活上の悩み相談を実施
- ホーム主催事業
 - ヤングスクール
夏、秋、冬の3期に分けて各期約15講座開催
 - 交流事業
ウエルカムホームデー、スノーボードスクール(一泊2日)等で、会員同士の交流を図る。
- サークル活動
7サークルが活動中
- 利用者の会自主活動
 - 交流事業
松本ほんぼん、バーベキュー、運動会、ハイキング、ホーム祭等の交流活動を自主企画。
 - ボランティア活動
子どもまつり、成人式、なんなんひろば文化祭への参加。

< 現状に対する認識 >

若者のライフスタイルの多様化及び少子化により、利用者が減少している。ホームページやSNS等を活用し、スキルアップや出会いと交流の場としてのホームの周知に努める。
また、講座やイベントの企画運営に長けたコーディネーターを配置するなど、若者が集まれる居場所づくりを進める。

< 指標の達成状況 >

	総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	講座等実施数					
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため					
目標値	140	140	140	140	140	
実績値	137	139				
達成度	97.9%	99.3%				
成果指標(指標名)	登録会員数					
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため					
目標値	355	400	400	400	400	
実績値	355	323				
達成度	100.0%	80.8%				

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	1,349	1,102			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,349	1,102			
人件費(千円)	15,810	12,214			
正規	11,535	7,590			
嘱託	4,275	4,624			
人工	1.5	1.6			
合計コスト +	17,159	13,316			
前年度比	-	77.6%			

事務事業評価票

事務事業名	「生きる力(キャリア教育)」育成事業
-------	--------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	「生きる力(キャリア教育)」育成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

主体性や問題解決力等、児童・生徒の社会的自立に向けて生きる力の育成を目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 社会参画体験プログラム
 - 子どもプレイパークの実施(学都フォーラムと同時開催)
子どもが主体となって、子どもたちが楽しく遊べるイベントの企画運営。
 - 子ども地域チャレンジ
子どもたちが、地域の課題を考え、地域を良くするための体験活動。
- 子ども参観日
子どもが、保護者の働く姿を参観することで、働くことに対する子どもの理解を深める。
- 社会スタディーゼミの実施支援
中学生に対し、社会人による講座を実施し、仕事について考える機会を提供する。
- 中学校での職場体験の支援
各学校に配布する、職場体験協力企業一覧の整備。
- 「生きる力(キャリア教育)」育成事業発表会
子どもたちによる、自分たちが取り組んだ、子ども地域チャレンジなどのキャリア教育の取り組みの発表の機会の提供。

松本版信州型コミュニティスクールとの連携や、他課でキャリア教育類似事業が実施されているため、事業の見直しや、協議会の在り方について検討を行っていきます。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	1	子どもの可能性が広がるまち
基本施策(個別目標)	611	学校教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童・生徒の割合				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	79.30%	79.30%	79.30%	79.30%	79.30%
実績値	76.00%	70.60%			
達成度	95.8%	89.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	782	643			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	782	643			
人件費(千円)	9,115	4,373			
正規	7,690	3,795			
嘱託	1,425	578			
人工	1	0.5			
人工	0.5	0.2			
人工					
人工					
人工					
人工					
合計コスト +	9,897	5,016			
前年度比	-	50.7%			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	生涯学習推進
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち		主な取り組み	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
				松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	生涯学習推進費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

学習活動で学んだ知識や技術が人と人との活動を通じた繋がりの中から地域へとひろがり、地域社会に活かされる松本らしい生涯学習施策を推進するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 公民館研究集会
安心していきいきと暮らせる住みよい地域社会をつくるため、住民・行政・地縁団体・市民活動団体などが集い、自治力の必要性や高め方、協働のあり方などを考え、まちづくりについて学び合う集いを年1回開催
- 学びの森いんふぉめーしょん発行
市民及び関係機関などの生涯学習関連情報を収集し、情報誌「学びの森いんふぉめーしょん」を年4回(5月、8月、11月、2月)発行
- 地区独自事業
 - 四賀地区夏祭り事業
旧四賀村からの継続事業として、地域活性化を目的に四賀地区住民が一堂に会する夏祭りを開催
 - 梓川・御浜町交流事業
旧梓川村の友好親善提携に基づき、梓川子ども会育成会と御浜町小学校5・6年生の交流を実施
 - 安曇・松崎町交流事業
旧安曇村の姉妹都市である松崎町と安曇地区の交流事業として松崎中学校及び安曇中学校、大野川中学校2学年生徒の交流を実施

<現状に対する認識>

公民館研究集会では、関係者や関係機関が一堂に会して議論し、得られた学習成果とネットワークは各地区の地域づくりに活かされている。また、学びの森いんふぉめーしょんでは、市内で開催される学習や活動している団体の情報提供から、生涯学習機会の充実が図られている。さらに、地区事業では、合併前から継続する地域の魅力や特性を活かした活動により地域づくりが推進されている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	松本市公民館研究集会への参加人数				
指標の設定理由	実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	500	500	500	500	500
実績値	1115	467			
達成度	223.0%	93.4%			
成果指標(指標名)	学びの森生涯学習ファイルへの登録数				
指標の設定理由	活動状況を直接的に測定できるため				
目標値	600	600	600	600	600
実績値	576	578			
達成度	96.0%	103.8%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	4,028		4,310							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,028		4,310							
人件費(千円)	25,780	人工	25,622	人工		人工		人工		人工
正規	19,225	2.5	18,975	2.5						
嘱託	6,555	2.3	6,647	2.3						
合計コスト +	29,808		29,932							
前年度比	-		100.4%							

事務事業評価票

事務事業名	補助金(専修学校各種学校連合会補助金等)
-------	----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

- 専修学校各種学校連合会補助金
専修・各種学校教職員の能力向上を図るため補助金を交付するもの
- 町内公民館整備補助金
地域住民の活動拠点となる町内の集会施設の整備を図り、地域づくりの発展に寄与するため、施設の整備に対して補助金を交付するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 専修学校各種学校連合会補助金
専修学校・各種学校に所属する教職員の能力向上のために行われる研修会に対し補助金を交付
(40,000円×11校)
 - 町内公民館整備補助金
町内の集会施設(町内公民館)の整備(新築、改築、改修、建設用地取得、福祉関連・耐震補強整備など)について要望のある町会へ補助金を交付(119件)
- 主なもの
 新築、改築 : 1/2 (上限10,000千円)
 改修 : 1/2 (上限5,000千円)
 福祉・耐震 : 2/3 (上限5,000千円)

< 現状に対する認識 >

町会から補助内容拡充についての要望が寄せられているため、要綱の改正等について検討し、改善に努める。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み			学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	4	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	専修学校・各種学校所属職員対象の研修会参加者数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	93	93	119	119	119
実績値	93	119			
達成度	100.0%	128.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	61,144		29,825							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	61,144		29,825							
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工		人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4						
嘱託	0		0							
合計コスト +	64,220		32,861							
前年度比	-		51.2%							

事務事業評価票

事務事業名	百竹亭管理
-------	-------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	百竹亭管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

池上喜作氏の遺族から寄贈を受けた建物(住居、茶室、庭園等)を整備し、生涯学習施設として広く市民に提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 指定管理者の指定・管理委託
 - 指定管理者制度の導入により、効率的かつ更なる利用促進が期待できる。
 - 自主事業・利用促進事業の実施
 - ア 月1回(8・10・1・2月を除く)の月釜茶会
 - イ 4月の松本城夜桜会に合わせ休憩所設置
 - ウ 7月に松本の七夕人形の展示・紹介
 - エ 扇子・うちわ、湯たんぽ・ひざ掛けの無料貸し出しサービス
 - オ オープンガーデンへの参加
- 樹木剪定等業務委託
 毎年度末に樹木剪定を実施し、庭園内の景観を維持する。また、蚊や蜂等の害虫の発生を抑制する効果が見られた。
- 利用状況
 - 開館日数: 309日(月曜日及び12月29日~1月3日休館)
 - 利用人数: 2,978人
 - 利用件数: 925件

< 現状に対する認識 >

建物と庭園の一部に老朽化が見られるが、管理運営費に見合う効果が上がっていないため、今後の施設のあり方を検討するとともに、それに見合った施設の整備が必要。
文化財としての価値(登録有形文化財の申請等)を検討しつつ、松本城から旧開智学校への動線など、歴史文化資源を活かしたまちづくりに百竹亭を有機的に生かす方法を考える必要がある。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク郡」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	延利用者数(現状維持)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	4,029	3,605	2,978	2,978	2,978
実績値	3,605	2,978			
達成度	89.5%	82.6%			
成果指標(指標名)	施設の利用率(利用日数/開館日数)(現状維持)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	79.9%	72.7%	69.6%	69.6%	69.6%
実績値	72.7%	69.6%			
達成度	91.0%	95.7%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	5,916	6,011			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,916	6,011			
人件費(千円)	769	759			
正規	769	759			
嘱託	0	0			
合計コスト +	6,685	6,770			
前年度比	-	101.3%			

事務事業評価票

事務事業名	ふれあいパーク乗鞍管理運営
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	ふれあいパーク乗鞍管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

水力発電施設周辺地域の福祉の向上及びコミュニティーづくりと市民の生涯学習の推進を図る。広く市民に提供するとともに、指定管理者制度の導入により、効率的かつ更なる利用促進が期待できる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 指定管理者の指定・管理委託
(1) 住民の会議、サークル活動、学校教育活動に係る施設の維持管理及び運営
(2) 自主事業の実施
ア 5月27～28日 庭整備(施設の維持)
イ 8月19日 サマーセミナー&フリーマーケット(参加者60名)
イ 11月20日 防災訓練講習会(参加者35名)
2 利用状況
(1) 利用人数: 3,597人
(2) 利用件数: 259件

< 現状に対する認識 >

立地上利用者が限られるが、乗鞍が安曇基幹集落センターから車で30分かかるため地域の公民館的施設として利用されている。現状の稼働を維持しつつ、地域コミュニティの拠点としての役割を果たしていくため、高齢化・人口減少が進む地域性について考慮し、例えば地域の商工観光部門との連携等、幅広い視点から住民の利用促進がなされる方策を検討する必要がある。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	延利用者数(現状維持)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	3,984	2,863	3,597	3,597	3,597
実績値	2,863	3,597			
達成度	71.9%	125.6%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	2,931		1,986							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,931		1,986							
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	3,700		2,745							
前年度比	-		74.2%							

事務事業評価票

事務事業名	文化センター夢の森管理運営
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	文化センター夢の森管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

当該施設は、公民館活動及び地域づくりの拠点施設であるほか、避難所に指定されているため、利用者が安心して安全に利用できるよう適正な管理を行い、利便性の向上及び利用促進を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 奈川文化センター夢の森改修事業
 公民館活動や地域づくりの拠点施設である当該施設を、利用者に安心・安全で快適に利用してもらうため、修繕・更新等を行うもの。

< 現状に対する認識 >

当該施設は、公民館活動及び地域づくりの拠点施設であるほか、避難所に指定されている。しかし、建設後20年以上が経過しており、経年劣化による故障もしくは更新時期の超過等により維持管理に支障を来しているため、計画的な修繕や改修等が必要である。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	9,936	9,300	9,300	9,300	9,300
実績値	9,237	5,074			
達成度	93.0%	54.6%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	10,267		9,744				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	10,267		9,744				
人件費(千円)	2,678	人工	2,674	人工		人工	人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2			
嘱託	1,140	0.4	1,156	0.4			
合計コスト +	12,945		12,418				
前年度比	-		95.9%				

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	あがたの森文化会館管理運営
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	あがたの森文化会館管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

学都まつもとの象徴として、また、生涯学習活動の拠点としての旧松本高等学校本館及び講堂を、将来にわたって適切な保存と、より一層の活用を図ることを目的としたもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 生涯学習活動促進事業
市民の学習活動を支援し、様々な世代の生涯学習活動を促進するため、主催自主事業を開催
- 文化会館貸館管理事業
旧松本高等学校校舎を文化財として保存し、後世に受け継ぐとともに、これを市民の生涯学習、文化活動の拠点として活用するための保存活用計画に基づいた整備
- 旧松本高等学校校舎耐震化事業
文化財を守りながら活用し後世に学都まつもとの理念を継承するため
・文化庁耐震診断指針に沿った耐震診断の実施
・文化的価値を保ちながら、利用者の安全を確保する補強方法の検討

・工事スケジュール
講堂2カ年本館4カ年の合計6カ年計画
講堂： 期工事(H30) 期工事(H31)
本館：南棟東(H32)、南棟西(H33)、西棟(H34)、北棟(H35)
工事による利用者減が見込まれるため目標値を修正

< 現状に対する認識 >

旧松本高等学校は、生涯学習の拠点として年間10万人を超える利用があるとともに、国の重要文化財としては全国的の類を見ない建物であるため、今後有効活用しながら建物保存を検討していくことが重要である。そこで計画的な修繕や改修を行っていく必要がある。

また、大地震時には倒壊し、来館者に人的被害発生の恐れがあるため、耐震補強に着手する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用者数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	116,300	111,000	87,800	80,500	72,400
実績値	109,913	103,937			
達成度	94.5%	93.6%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	26,668	24,213			
国・県	6,970	4,865			
利用者負担金					
その他					
一般財源	19,698	19,348			
人件費(千円)	26,780	26,740			
正規	15,380	15,180			
嘱託	11,400	11,560			
合計コスト +	53,448	50,953			
前年度比	-	95.3%			

事務事業評価票

事務事業名	学校サポート事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	学校サポート事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

「地域と共にある学校づくり」と「特色ある学校づくり」をめざし、地区公民館が地域と学校のコーディネーター役を担い、地域資源を活用した地域で子どもを守り育てる仕組みを構築。また、地域住民の様々な知恵や知識・技術を活かし子どもに伝えることで、住民の生きがいづくりを推進するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 内容	市内小中学校を対象に、全地区(35地区)で事業を展開
(1) 学習・部活動支援	食育・環境・郷土学習、読み聞かせの実践 他
(2) 安心・安全支援	子ども見守り隊、安全マップづくり、防災訓練 他
(3) 環境整備	庭木の剪定、花壇・農園づくり、学校施設の点検 他
2 29年度実績	35地区で実施

< 現状に対する認識 >

地域の子どもは地域で育てる仕組みから、子どもと地域住民との絆づくりと生きがいづくりが推進される。
松本版・信州型コミュニティスクール事業との統合にあたり、学校サポート事業が培った資産の活用・充実について協議が必要。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	実施地区数(地区)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	35	35	35	35	35
実績値	35	35			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	1,748		1,813							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,748		1,813							
人件費(千円)	36,890	人工	36,680	人工		人工		人工		人工
正規	26,915	3.5	26,565	3.5						
嘱託	9,975	3.5	10,115	3.5						
合計コスト +	38,638		38,493							
前年度比	-		99.6%							

事務事業評価票

事務事業名	単独学級講座事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独学級講座事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

暮らしや生活に関わる身近な課題やその課題解決に向けた学習・事業を実施し、住民自らが主体的に行動する力(自治と活力)を育みながら、安心して住みよい地域づくりを推進するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 内容
暮らしの質を高め誰もが安心して住みよい地域をめざすため、仲間づくりをはじめ、生活や暮らしに関わる身近な課題や地域の課題を解決するために、様々な講座や事業を開催

- ・学習・文化・スポーツ活動
- ・暮らしと地域を見つめる講座・事業
- ・世代間交流、外国籍住民支援
- ・町内公民館の活動支援、サークル活動への支援
- ・歴史の記録、学習会の記録、史跡の保護・保全

< 現状に対する認識 >

幅広い住民の草の根活動を支え、響き合う関係から、住民参加型社会の担い手を地域から生みだし、住民の自治力と活力の高揚が図られる。
地域の様々な人材の掘り起しがされ、特色ある地域づくり活動の推進と地域の担い手、人材の育成が図られる。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	公民館活動利用人数(学級・講座・諸集会等)(人)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000
実績値	190,423	214,221			
達成度	105.8%	119.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	17,913	17,672			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	17,913	17,672			
人件費(千円)	197,609	196,411			
人工					
正規	146,879	144,969			
嘱託	50,730	51,442			
合計コスト +	215,522	214,083			
前年度比	-	99.3%			

事務事業評価票

事務事業名	公民館報作成事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	公民館報作成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

地区の歴史、年間行事、人物や文化活動・生涯学習活動など、住民自治に根ざした地域づくりのための問題提起、学習教材の提供など、住民の自由な発想と構想を活かした学習情報誌を発行するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 住民が館報編集委員会(各地区・全市版)を組織し、館報を編集し年6回(奇数月の30日)発行(全市版4頁、各地区版2頁)
- 2 内容
 - (1) 学習資料や地域情報の提供
 - (2) 公民館活動の広報
 - (3) 住民の声
 - (4) 地域の歴史資料 他

< 現状に対する認識 >

住民や地域、行政の動きを知らせるとともに、学習活動の資料となっている。地域住民の声を反映し、地域の連帯と交流の推進が図れる。住民相互のつながりを深めながら、その地区ならではの地域づくりの推進に向けた学習と討論、実践の学習教材となっている。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年間発行回数(回)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	6	6	6	6	6
実績値	6	6			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)	公民館委員数(館報編集委員)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	297	297	297	297	297
実績値	297	297			
達成度	100.0%	100.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	18,449	18,449			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	18,449	18,449			
人件費(千円)	7,690	7,590			
正規	7,690	7,590			
嘱託	0	0			
合計コスト +	26,139	26,039			
前年度比	-	99.6%			

事務事業評価票

事務事業名	芸術文化事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	芸術文化事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

多くの市民が気軽に楽しく文化芸術にふれあう機会を創出し、市民の主体的、継続的な文化芸術活動の促進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 内容
(1) 松本市芸術文化祭事業 地域に根ざした文化芸術を育むために、「松本市芸術文化祭実行委員会」へ委託し通年発表会や公演、展示会を開催するもの
(2) お城盆踊り 松本市の象徴、国宝松本城のもとで郷土愛を育み、市民と観光客等の交流を図りながら、松本らしさの文化を継承する盆踊りを開催するもの
2 29年度実績
(1) 松本市芸術文化祭参加者数 27,300人
(2) お城盆踊り参加者数 640人

< 現状に対する認識 >

幅広い市民による文化芸術活動の発表の場とともに、創造性や感性を育み、人生に生きがいや感動を与える機会になっている。
子どもや若年層の参加により、文化芸術の担い手育成の場となっている。
市、また各地域に伝承される文化芸術への理解を図る場となっている。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三カク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	参加者数(人)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	25,700	25,700	25,700	25,700	25,700
実績値	26,504	27,940			
達成度	103.1%	108.7%	0.0%	0.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	5,099		5,109		0		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,099		5,109							
人件費(千円)	2,592	人工	2,566	人工	0	人工	0	人工	0	人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	0		0		0	
嘱託	285	0.1	289	0.1	0		0		0	
合計コスト +	7,691		7,675		0		0		0	
前年度比	-		99.8%		0.0%		#DIV/0!		#DIV/0!	

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	町内公民館振興事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち	主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	町内公民館振興事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

町内の住民が親睦や交流、学習活動を通じて互いの思いを認め合いながら、町内の連帯意識を育てていく町内公民館活動の振興を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 内容
身近な地域づくりの拠点となる町内公民館事業の振興を図るため、町内公民館活動のきっかけづくりとして委託料を交付
(1) 委託先 地区町内公民館長会会長
(2) 委託料 1町会につき
200世帯まで 30,000円
201~400世帯まで 31,000円
401世帯以上 32,000円
2 29年度実績
488町内公民館と委託契約を締結

< 現状に対する認識 >

最も身近な活動拠点として、住民自治を育み、地域力の向上と、町内の人間関係を良好に保ち、町内の活性化、地域の絆づくりの推進が図られている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	契約締結町内公民館数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	488	488	488	488	488
実績値	488	488			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	14,865	14,865			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	14,865	14,865			
人件費(千円)	36,890	36,680			
正規	26,915	26,565			
嘱託	9,975	10,115			
合計コスト +	51,755	51,545			
前年度比	-	99.6%			

事務事業評価票

事務事業名	食育事業
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	食育事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

自然に恵まれた松本市の特性を生かし、人と人とのつながりを大切にみんな
で食を楽しみ、豊かな食習慣を育て、心と体の健やかな自立を目指すもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 内容
各地区公民館で、ライフステージに応じた地域での食育を推進するために
各種講座や学習会を開催

(1) 講座等の例
親子料理教室、農業体験、地産地消を考える講座、郷土食を学ぶ講座、
生活習慣予防の食生活を考える講座 他

(2) 連携団体等
食生活改善協議会、健康づくり推進委員会、農協、生産者 他

2 29年度実績
(1) 講座数 90講座(171回)
(2) 延参加人数 3,849人

< 現状に対する認識 >

先人から育まれてきた地域の食の多様性や豊かな味覚や文化の香り溢れる
伝統的な「食」を学び、伝承する気運が図られる。
食育に関わる団体等とのネットワークの構築が進み、地域の特性を生かした
地域づくりの推進に繋がっている。
食を通じた多世代交流の機会として定着している地区もみられる。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	講座実施回数(回)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	150	150	150	150	150
実績値	200	171			
達成度	133.3%	114.0%			
成果指標(指標名)	参加者数(人)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	3,561	3,596	3,631	3,667	3,703
実績値	3,696	3,849			
達成度	103.8%	107.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	700	681			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	700	681			
人件費(千円)	36,890	36,680			
正規	26,915	26,565			
嘱託	9,975	10,115			
合計コスト +	37,590	37,361			
前年度比	-	99.4%			

事務事業評価票

事務事業名	公民館管理運営
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	公民館管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民生活文化の振興及び福祉の増進、また生涯学習の推進を目的に、中央公民館及び地区公民館の管理運営を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

より多くの市民に公民館を利用していただけるよう備品更新計画に基づき計画的に備品を更新。併せて施設状況を調査・把握して計画的に修繕・営繕工事を実施し、安心して利用できる学習環境を整備した。

- 1 備品等修繕・営繕工事の実施
 修繕：空調機器、消防設備等68件実施
 工事：駐車場舗装改修、電話設備更新、暖房機器更新等44件実施
- 2 業務委託
 (1) 保守点検
 自家用電気工作物保安管理業務、地区公民館電力デマンド監視業務、消防設備、エレベーター、自動ドア等保守点検業務等の委託
 (2) 管理
 中央公民館等の時間外管理業務、中央公民館ホール等の維持管理業務を委託
 (3) 清掃：公民館内清掃業務の委託
- 3 備品購入
 会議室机・椅子、プロジェクター、ホワイトボードなど利用者備品の更新

< 現状に対する認識 >

市民の学習要望は年々多様化しており、的確なニーズの把握とそれに応じた学習環境の整備について、研究・検討を進める必要がある。
 また、施設の老朽化に伴う暖房等の空調設備や会議室の机・椅子等の修繕・更新など、市民が不便なく施設利用できるように維持管理や環境整備が必要である。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み			学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略			成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	公民館延利用者数(前年度実績1%増)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	874,219	837,774	737,547		
実績値	829,479	730,245			
達成度	94.9%	87.2%	0.0%		
成果指標(指標名)	公民館利用件数(前年度実績1%増)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	63,304	66,015	63,718		
実績値	65,361	63,087			
達成度	103.2%	95.6%	0.0%		

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	260,595		277,344							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	260,595		277,344							
人件費(千円)	14,589	人工	14,669	人工		人工		人工		人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6						
嘱託	9,975	3.5	10,115	3.5						
合計コスト +	275,184		292,013							
前年度比	-		106.1%							

事務事業評価票

事務事業名	地区公民館整備事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地区公民館整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H24 ~ H30

老朽化し耐震基準を満たしていない波田公民館を、支所機能縮小により空きスペースが生じた波田支所庁舎内の2階・3階に移転させることにより、安全な学習の場の提供と空き施設の有効活用を図るものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 H24 ~ 25 移転検討委員会の設置等、地元との協議を実施
- 2 H26 基本設計を実施
- 3 H27 実施設計を実施
- 4 H28 移転改修工事着工、改修工事全体の約6割が完了
- 5 H29 移転改修工事竣工、移転後公民館リニューアルオープン、旧公民館解体工事竣工
- 6 H30 旧公民館浄化槽解体工事、駐車場整備工事

< 現状に対する認識 >

現在まで、計画通りの事業進捗であり、平成29年7月に移転後公民館のリニューアルオープンを実現した。平成30年度も同様の進捗により、事業の完遂を目指す。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業進捗率(事業費ベース)				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	47%	96%	100%		
実績値	47%	96%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	159,440		201,703							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	159,440		201,703							
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工		人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4						
嘱託	0		0							
合計コスト +	162,516		204,739							
前年度比	-		126.0%							

事務事業評価票

事務事業名	地区公民館大規模改修事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地区公民館大規模改修事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H16~

地区公民館整備方針に基づき、大規模改修、備品更新等を実施し、計画的な施設改修、設備更新等を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 事業開始年次より、計画的な施設改修・設備更新等を実施し、地域活動、社会教育活動等における拠点としての公民館の機能維持、ユニバーサルデザイン導入その他に裨益している。
- 下記の3要素を事業の主目標として、実施各館で実現している。
 - 施設の耐久性確保・機能維持 …… 屋根、外壁、内装の改修等
 - ユニバーサルデザイン導入 …… エレベーター設置、トイレ改修等
 - エコ改修 …… 太陽光発電設備の設置、サッシ複層化等
- 平成29年度までの実績
 - 大規模改修 8件を実施(入山辺、安曇、梓川、神林、鎌田地区、今井、内田、笹賀)
 - 暖房器具更新 3件を実施
 - 冷房設備保守点検 10件を実施 30年度より経常的経費へ移行
- 平成29年度の実績
 - 大規模改修実施設計 1件(和田)
 - 大規模改修工事 1件(笹賀)
 - その他 大規模改修に伴う備品更新、施設環境調査等

< 現状に対する認識 >

年度毎1件の大規模改修、複数件の備品更新・設備更新等を実施しており、今後も同水準以上を継続する必要がある。
 実施計画47号より、松本市公共施設等総合管理計画に基づいて長寿命化計画を導入し、平成30年度より一部実施を予定している。以後は、松本市公共施設等総合管理計画、松本市公共施設再配置計画をもとに、地区公民館整備方針を見直し、新たな計画を作成する必要がある。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	622	社会教育環境の整備

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み			学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略			

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地区公民館の大規模改修実施件数				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	7	8	9	9	9
実績値	7	8			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	117,670		191,167							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	117,670		191,167							
人件費(千円)	4,076	人工	4,023	人工		人工		人工		人工
正規	4,076	0.53	4,023	0.53						
嘱託	0		0							
合計コスト +	121,746		195,190							
前年度比	-		160.3%							

事務事業評価票

事務事業名	成人式開催事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	成人式開催事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

二十歳という人生の節目を迎えた新成人をお祝いし、大人としての責任と自覚を促すとともに、今後の活躍を期待して成人式を開催するもの(S23～開催)

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 日時	平成30年1月7日(日)13:00 開式
2 会場	松本市総合体育館 メインアリーナ
3 主催	松本市、松本市教育委員会
4 企画運営	松本市成人式実行委員会(新成人 12名)
5 内容	主催者式辞、来賓祝辞、新成人の抱負、記念品贈呈、企画映像放映
6 新成人対象者	2,332人(うち、出席者1,846人 出席率79.2% 前年度と同率)
7 その他	式典終了後、卒業中学校単位で記念撮影

< 現状に対する認識 >

新成人で構成する成人式実行委員会が主体となって、式典の企画運営を行っており、引き続き、厳粛で思い深い式典の開催に努める。
記念写真の撮影セットを2か所から3か所に増設し、時間短縮を図ったが、今後もスムーズな運営に努める。

部局名	教育部	課名	生涯学習課	課CD	13190000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	3	子どもの育ちを応援するまち
基本施策(個別目標)	234	青少年の健全育成

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	2 次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	成人式出席率				
指標の設定理由	事業実施状況を直接的に測定できるため				
目標値	80	80	80	80	80
実績値	79.2	79.2			
達成度	99.0%	99.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	3,761	4,256			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	3,761	4,256			
人件費(千円)	2,307	4,373			
正規	2,307	0.3	3,795	0.5	
嘱託	0	578	0.2		
合計コスト +	6,068	8,629			
前年度比	-	142.2%			

中央図書館

館長 瀧澤 裕子

事務事業評価票

事務事業名	図書館資料整備事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	図書館資料整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

地域づくりや生涯学習の情報拠点としての役割を果たすため、地域資料や学習のための資料等、利用者が必要とする図書館資料を収集し提供するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業の実施内容

- (1) 図書資料の購入(中央図書館及び分館10館)
- (2) 寄贈本、収集した地域資料等の装備、登録
- (3) 蔵書の有効的利用を図るための分館からの移管や除籍

2 平成29年度の実績

(1) 資料整備(雑誌、視聴覚資料等を含む)

購入 50,303冊
 寄贈等 1,099冊
 年度末蔵書数 1,237,687冊

(2) 貸出冊数

個人貸出 1,570,780冊
 団体貸出 56団体 25,235冊

【参考】登録者数関係

- 1 登録者数 122,089人(前年比 1,379人)
- 2 うち、市内登録者数 107,984人(市民の登録率45.1%、前年比 1.3%)
- 3 松本市人口 239,519人(平成30年4月1日現在)

< 現状に対する認識 >

蔵書冊数は、前年度の1,232,695冊から4,992冊(0.4%)増加。
 個人貸出数は、前年度の1,619,669冊から48,889冊(3.0%)減少。
 成果指標は90%を超えているが、市民1人当たりの図書館蔵書は、書庫が狭隘化しており目標達成困難な状況にあり、市民1人当たりの図書館貸出数も平成28年度以降減少傾向にあり、いずれも図書館のあり方検討を含めた検討・改善が必要。

部局名	教育部	課名	中央図書館	課CD	13230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	2	生涯学習が地域を豊かにするまち
基本施策(個別目標)	621	生涯学習の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
	5つの重点目標	
	松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	市民1人当たりの図書館蔵書数				
指標の設定理由	図書館サービスの基本である「住民の求める資料の充実」に係る指標				
目標値	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6
実績値	5.1	5.2			
達成度	98.1%	98.1%			
成果指標(指標名)	市民1人当たりの図書館貸出冊数				
指標の設定理由	住民の図書館利用度を示す指標				
目標値	7.1	7.1	7.2	7.3	7.4
実績値	6.7	6.6			
達成度	94.4%	93.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	93,790	94,524			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	93,790	94,524			
人件費(千円)	28,635	28,761			
正規	11,535	11,385			
嘱託	17,100	17,376			
合計コスト +	122,425	123,285			
前年度比	-	100.7%			

文化財課

課長 大竹 永明

事務事業評価票

事務事業名	文化財保存管理事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	文化財保存管理費

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

市民に守られてきた文化財を後世に伝えるため、文化財の指定・登録等を進め、整備や修理などの維持管理を行い、文化財所有者への支援を行うことで、文化財の保存と活用を推進するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 文化財の指定・登録

(1) 指定等のための調査
平成29年度は文化財審議委員会等において23件の文化財調査・検討を実施。

(2) 指定等件数
平成29年度市指定文化財件数 3件 (28年度 3件)
" 国指定 " 1件 (28年度 1件)
" 国登録 " 2件 (28年度 0件)
平成30年3月31日現在 336件 (国80・県35・市221)

2 指定等文化財の保存管理

(1) 市所有指定等文化財の保存管理 1
平成29年度 戸田家廟園内陣保存整備、弘法山古墳環境整備、穴沢のクジラ化石保存整備、等
平成30年度 戸田家廟園内陣保存整備、穴沢のクジラ化石保存整備、源智の井戸湧出口浚渫、等

(2) 文化財保存活用事業への補助
平成29年度補助対象事業 23件
平成30年度補助対象事業 22件(予定)

1 小笠原氏城館群史跡整備、白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画策定を除く。

< 現状に対する認識 >

1 豊かな自然と長い歴史から本市には多くの文化財が継承されてきたが、社会環境の変化で文化財を取り巻く環境は厳しさを増している。

2 文化財の適切・計画的な保存管理を行うとともに、更なる文化財指定と、所有者の文化財保護活動に対する支援を充実させる必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	市内の指定・登録等文化財件数				
指標の設定理由	文化財の指定等は所有者による保存と行政からの支援につながるため				
目標値	335.0	340.0	345.0	350.0	360.0
実績値	333	336			
達成度	99.4%	98.8%			
成果指標(指標名)	市内の指定・登録等文化財件数(新規指定・登録件数)				
指標の設定理由	解除件数を除くことで新規指定等件数が明確になるため				
目標値	335	340	345	350	360
実績値	334	339			
達成度	99.7%	99.7%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	29,169	18,175			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	29,169	18,175			
人件費(千円)	20,080	22,121			
人工	2.5	2.8			
正規	19,225	21,252			
嘱託	855	869			
	0.3	0.3			
合計コスト +	49,249	40,296			
前年度比	-	81.8%			

事務事業評価票

事務事業名	埋蔵文化財保護事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >	
会計名	一般会計
予算中事業名	埋蔵文化財保護事業

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取り組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進		5つの重点目標	
				松本版総合戦略	

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
文化財保護法に基づき、主として開発事業により破壊される遺跡の発掘調査を行い、記録保存するとともに、郷土の歴史・文化施設として活用し、郷土に誇りや愛着の持てるような地域づくりに貢献する。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
1 開発事業に伴う窓口照会事業 開発に伴う照会に対し、遺跡に該当するかどうかを回答 (H29年度の照会件数は、1,831件)
2 試掘調査事業 遺跡該当の開発事業に伴い、分布・範囲の確認を目的とする試掘調査と立会調査を実施 (H29の試掘件数は52件、立会件数は208件)
3 記録保存のための発掘調査事業 受託事業、市単独事業に伴う発掘調査を実施 また、遺構図類・遺物の整理作業を実施し、発掘調査報告書を刊行 (H29年度の発掘件数は受託1件、市単5件の計6件、整理作業件数は受託3件、市単3件の計6件)
4 普及公開事業 市民公開の機会として講座・現地見学会を開催 (H29年度、23件の講座・現地見学会を開催し、延参加者数は1,695人) 1回あたり74人の参加があり、50人の目標設定値を48ポイント上回った。

< 現状に対する認識 >
市内には多くの遺跡がある。近年は大規模調査に加え、都市計画道路内環状北線に関わる発掘調査が本格化している。限られた経費と期間内で最大の成果を上げられるよう、調査技術の継承を含め、職員の資質向上を図る必要がある。成果を積極的に市民公開し、郷土の歴史・文化への関心が高まるよう努力が必要である。

< 指標の達成状況 >	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由	開発事業量に左右される業務のため、目標値設定は困難				
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >									
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
事業費(千円)	82,020	70,960							
国・県	900								
利用者負担金	43,280	37,170							
その他									
一般財源	37,840	33,790							
人件費(千円)	68,940	人工	68,708	人工		人工		人工	
正規	46,140	6	45,540	6					
嘱託	22,800	8	23,168	8					
合計コスト +	150,960		139,668						
前年度比	-		92.5%						

事務事業評価票

事務事業名	殿村遺跡史跡整備事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	殿村遺跡史跡整備事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

22 ~ 30

現地保存が決まった殿村遺跡について、史跡指定を視野に将来的な整備・活用を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

【事業内容】

- 殿村遺跡発掘調査
計画的な範囲・内容確認調査による遺跡範囲(将来的な史跡範囲)の把握、調査報告書の毎年刊行
- 虚空蔵山麓の総合調査
周辺の寺院や信仰関連資料調査による一体の信仰空間の把握、虚空蔵山城跡ほか周辺の城館遺跡の把握、地質・植生等の景観調査
- 普及公開事業の推進
調査成果の公開と講座講演会の開催

【事業内容と進捗度(事業費ベース・累計)】

H22	第2次調査ほか	22,570千円
H23	第3次調査ほか	52,120千円
H24	第4次調査ほか	74,100千円
H25	第5次調査ほか	93,110千円
H26	第6次調査ほか	101,290千円
H27	第7次調査ほか	109,880千円
H28	第8次調査ほか	136,470千円
H29	第9次調査ほか	146,800千円
H30	追加調査・総括	159,440千円
H31	総合報告書刊行	168,350千円

< 現状に対する認識 >

計画どおり進行し平成29年度で発掘調査が終了したが、総括に時間を要するため事業最終年度を平成31年度まで延長し、将来的な史跡指定に向けての条件整備に取り組む。

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

総合評価

A

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業全体の進捗率(事業費ベース、%)				
指標の設定理由	事業内容が多岐にわたるため事業費ベースとした。				
目標値	85	97	99	100	
実績値	85	97			
達成度	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	23,539		10,322							
国・県	17,752		3,007							
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,787		7,315							
人件費(千円)	11,965.0	人工	10,540	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,690	1						
嘱託	4,275	1.5	2,850	1						
合計コスト +	35,504		20,862							
前年度比	-		58.8%							

事務事業評価票

事務事業名	エリ穴遺跡遺物整理・報告書刊行事業
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	エリ穴遺跡調査報告書刊行事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

25 ~ 30

エリ穴遺跡の出土品の整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行する。出土品は重要文化財級の価値を有すると指摘されており、報告書刊行後は、まず市文化財及び県宝の指定を受け、続いて松本市として初となる出土品一括の国重文指定を目指す。指定により当市の文化資産としての価値を高め、市民の学習意欲を促進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 発掘調査に伴う遺構図類・出土遺物の整理事業
 - 膨大な量の遺構図類・出土遺物の整理を効率的に実施した。
 - 平成28年度に出土遺物の整理を完了した。
- 調査報告書の刊行事業
 - 全4冊からなる発掘調査報告書を刊行する。
 - 平成28年度に第1分冊、平成29年度に第2・3分冊を刊行した。平成30年度に最終の第4分冊を刊行する。
 - 刊行により、出土品の学術的な価値付けと詳細な成果を公表する。
- 報告書刊行以降(平成31年度以降)
 - 出土品の市文化財指定・県宝指定・国重要文化財登録事業
県宝指定の資料を作成し、長野県文化財審議委員会考古資料部会へ提出する。
 - 保存活用計画策定事業
将来的な保存・管理・活用方針を策定する。

< 現状に対する認識 >

報告書の刊行は計画どおり進んでいるが、遺構図・資料の点数が当初見込みより増加したため、より効率的に整理する必要がある。
平成30年度に刊行する第4分冊はエリ穴遺跡全体の評価と考察を掲載するため、国重要文化財指定に資する内容が求められる。引き続き県教育委員会や研究者の指導を受けながら事業を進める。

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち			
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
			5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

総合評価

A

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	調査報告書の進捗状況(事業費ベース)				
指標の設定理由	業務内容が多岐にわたるため、事業費ベースとした				
目標値	77.0	89.0	100		
実績値	77	89			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	5,730		4,140							
国・県	2,870		2,070							
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,860		2,070							
人件費(千円)	21,080	人工	20,972	人工		人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2						
嘱託	5,700	2	5,792	2						
合計コスト +	26,810		25,112							
前年度比	-		93.7%							

事務事業評価票

事務事業名	歴史文化基本構想策定事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	歴史文化基本構想策定事業

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	25～30
--------	-------

地域の文化財をその周辺環境まで含め総合的に保存・活用していくための計画を策定します。市内の文化財を指定の有無にかかわらず調査し、関連文化財群として把握することで、今後、歴史文化を生かしたまちづくりを進めていくためのマスタープランとなるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 文化財悉皆調査及び関連文化財群の設定(平成28年度まで)
 - 平成25年から市内35地区で未指定を含めた文化財調査を実施した。
 - 調査成果を先行の文化財調査を含めて整理し、平成27年度までに「関連文化財群」を設定した。
 - 平成28年度に、設定された関連文化財群を更に整理・統合した。
- 構想の策定(平成29年度)
 - 3回の関連文化財群設定委員会等で検討し、構想を策定した。
 - 構想はパブリックコメントを実施し市民の意見を反映させた。
 - 関連文化財群紹介ハンドブックを作成して地区公民館、関係者に配布した。
- 市民への周知、シンポジウム・報告会の開催
 - 平成29年度に4回目の市民向け報告会を開催した。
 - 平成30年度は構想策定後のシンポジウムを開催。
- 構想に基づく具体的施策の検討
 - 平成30年度に(仮)まつもと文化遺産保存活用協議会を設置。
 - 協議会において構想に基づいた具体的方策を検討。

< 現状に対する認識 >

- 各地域の文化財を網羅し、住民の意見を反映させた基本構想を策定することができた。
- 地域主体で文化財調査を行なったことで、調査成果の活用する動きと文化財を地域で保護する気運が高まりつつある。
- 構想策定以降は、関連文化財群の市民への周知と、構想に基づく具体的保存活用の方策を検討する必要がある。

< 指標の達成状況 >

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)						
指標の設定理由	構想策定のため目標値設定は不適當					
目標値						
実績値						
達成度						
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	890	963			
国・県	838	917			
利用者負担金					
その他					
一般財源	52	46			
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	人工
正規	7,690	1	7,590	1	
嘱託	0	0	0		
合計コスト +	8,580	8,553			
前年度比	-	99.7%			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	小笠原氏城館群史跡整備事業
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	小笠原氏城館群史跡整備事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

25 ~ 30

井川城跡と林城跡(大城・小城)について、国史跡指定を進め「小笠原氏城跡」として一体的な保存・活用を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

【事業内容】	
1	3城跡の国史跡指定に向けた調査・報告書刊行 井川城跡の発掘調査、林城跡(大城・小城)の縄張調査、文献史料調査、 調査報告書の刊行
2	3城跡の国史跡指定手続き 指定範囲の確定、周知、土地所有者の同意取得、意見具申書の提出 (答申～指定)
3	普及公開事業の推進 調査成果公開、史跡活用講座、指定記念事業、山城サミット協議会加盟
4	保存活用計画策定 史跡の現状把握と将来的な保存・管理・活用方針の策定
【事業の進捗状況と事業費累計】	
H2 5	指定に向けての調査開始 1 1, 160千円
H2 6	指定に向けての調査完了 3 1, 480千円
H2 7	指定対象の価値付け 3 7, 030千円
H2 8	具申～指定(井川城跡・林大城) 4 2, 640千円
H2 9	追加指定に向けての調査(小城) 1 5 2, 930千円
H3 0	追加指定(林小城) 2 7 4, 860千円
H3 1	保存活用計画策定(1年目) 2 9 3, 080千円
H3 2	保存活用計画策定(2年目・完了) 3 1 3, 020千円

< 現状に対する認識 >

計画どおり、平成28年度に2城跡が指定となったが、井川城跡は計画範囲の60%にとどまっているため、林小城とともに継続して平成30年度の追加指定に取り組む必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	用地取得を除く事業の進捗率(事業費ベース、%)				
指標の設定理由	事業内容が多岐にわたるため事業費ベースとした。				
目標値	67	77	82	93.0	100.0
実績値	67	77			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)	全体事業の進捗率(事業費ベース、%)				
指標の設定理由	事業内容が多岐にわたるため事業費ベースとした。				
目標値	9	61	93	97	100
実績値	9	61			
達成度	100.0%	100.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	5,607		110,290							
国・県	1,225		87,525							
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,382		22,765							
人件費(千円)	11,965.0	人工	13,390	人工		人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,690	1						
嘱託	4,275	1.5	5,700	2						
合計コスト +	17,572		123,680							
前年度比	-		703.8%							

事務事業評価票

事務事業名	白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石 保存活用計画策定事業
-------	------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	白骨温泉噴湯丘等保存管理事業

部局名	教育部	課名	文化財課	課CD	13240000
-----	-----	----	------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
5つの重点目標	松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度 27 ~ 30

国特別天然記念物である「白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石」の保存と適切な活用を図るため、現状を把握し、保存活用計画を策定するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 実施済みのもの
 - 現状把握
 - ア 詳細地形測量(27年度)
 - イ 噴湯丘と球状石灰石 分布調査(28~29年度)
 - ウ 地質等調査(28年度:植物、29年度:地質、鉱物、微生物、温泉水等)
 - エ 文献調査(28~29年度)
- 今後実施するもの(30年度)
 - 指定範囲の見直し

調査結果に基づき指定範囲を見直し、変更に向けて文化庁に意見具申を行う。
 - 保存活用計画の策定

現状変更基準や活用の方向性などについて、関係者間の合意形成を図りながら、保存活用計画を策定する。
 - 文化財的な価値の発信

市民や観光客に向けて文化財的な価値や見どころを広報するため、リーフレットを制作する。

< 現状に対する認識 >

- 分布調査の結果、石灰華の堆積厚は30mにも及び国内有数の規模であり、本文化財の本質的価値を成すことが明らかになった。
- これら石灰華の分布域は、当初の指定範囲と一致しておらず、指定範囲の見直しが必要である。
- 石灰華のほか、地形・地質・動植物・歴史などを含めた白骨温泉の文化財的な価値を再評価し、広く発信する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	計画策定のため目標値の設定は不適當				
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	7,406		6,344							
国・県	3,924		3,361							
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,482		2,983							
人件費(千円)	5383	人工	7690	人工		人工		人工		人工
正規	5383	0.7	7690	1						
嘱託	0		0							
合計コスト +	12,789		14,034							
前年度比	-		109.7%							

松本城管理事務所

所長 手島 学

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	単独南・西外堀復元事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独南・西外堀復元事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H23 ~ H36

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本城南・西外堀復元事業
 土壌汚染対策法に基づく、二の丸及び復元事業用地内の土壌汚染調査
 外堀復元に伴う地下水環境影響調査

< 現状に対する認識 >

事業完了年度が平成33年度から平成36年度へ延長
 南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
	5つの重点目標	
	松本版総合戦略	

総合評価	A
------	---

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業の進捗率を把握するため				
目標値	33	37	42	51	67
実績値	33	37			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	751		17,826							
国・県										
利用者負担金										
その他(起債・松本城施設整備基金)	751		17,826							
一般財源										
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	3,058		20,103							
前年度比	-		657.4%							

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	国庫補助南・西外堀復元事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	国庫補助南・西外堀復元事業費

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	H23 ~ H36
--------	-----------

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 松本城南・西外堀復元事業

(1) 用地取得及び条件整備
事業用地の取得(平成29年度までの事業用地取得率 48%)

(2) 復元に向けた試掘調査
試掘箇所:南・西外堀二の丸側

< 現状に対する認識 >

事業完了年度が平成33年度から平成36年度へ延長
南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	事業の進捗率					
指標の設定理由	事業の進捗率を把握するため					
目標値	33	37	42	51	67	
実績値	33	37				
達成度	100.0%	100.0%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	141,787	133,434			
国・県	113,429	104,917			
利用者負担金					
その他(起債・松本城施設整備基金)	28,358	28,517			
一般財源					
人件費(千円)	2,307	人工 2,277	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	
嘱託	0	0	0		
合計コスト +	144,094	135,711			
前年度比	-	94.2%			

事務事業評価票

事務事業名	事務管理
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	事務管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

文化財の保全管理を図りつつ、観光資源としての観覧者の受け入れを行い、国宝としての適正な管理運営を実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 経常の松本城管理運営経費
松本城経費、借上料、備品購入、消費税の支払
- 2 松本城券売業務
松本城入場券の販売及び入場者数の把握(有料、無料)
各種割引券、団体からの観覧料領収書の対応及び各旅行会社からのクーポン処理
- 3 各種保守点検、管理委託業務
松本城の各種保守点検、市営開智駐車場、松本城宿直警備、松本城公園、本丸庭園トイレ清掃、史跡松本城南・西外堀警備等の業務委託

< 現状に対する認識 >

市営開智駐車場管理、各種保守点検等の締結を行い松本城全体の維持管理を実施した。
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
	5つの重点目標	
	松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	968,000	968,000
実績値	990,361	912,587			
達成度	110.0%	94.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	106,201		89,018							
国・県										
利用者負担金										
その他	9,883		10,300							
一般財源(松本城特会)	96,318		78,718							
人件費(千円)	24,572	人工	24,563	人工		人工		人工		人工
正規	14,150	1.84	13,966	1.84						
嘱託	10,118	3.55	10,281	3.55						
研究専門員	305	0.1	316	0.1						
合計コスト +	130,773		113,581							
前年度比	-		86.9%							

事務事業評価票

事務事業名	天守管理
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	天守管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
・国宝松本城天守の公開及び保全管理 ・松本城天守の耐震診断結果を踏まえた安全対策の強化	

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 天守観覧用下足袋購入
天守を観覧する際に靴を入れる袋の購入
- 天守誘導・案内業務委託
松本城天守内清掃、観覧者の誘導、案内、巡回管理を実施
- 天守屋根清掃業務
天守他4棟(乾小天守、渡櫓、辰巳附櫓、月見櫓)の屋根、壁及び石垣に付着する鳩糞の除去及び水洗い業務を実施
- 天守特別清掃
天守内の高所部分等、通常では困難な箇所の清掃を実施
- 天守内の安全対策
松本城天守の耐震診断結果により安全対策を実施
耐震診断の結果、「最大規模の地震の場合は倒壊」と判断された乾小天守の公開規制実施
避難誘導体制を強化するため天守内に警備、避難誘導員(委託業者)を配置

< 現状に対する認識 >

多くの市民、観光客が訪れる国宝の天守としての美景を保つことができた。天守内の各階に警備員を配置したことにより、観覧者の情報を無線により警備員全員が共有でき、きめ細やかなおもてなしが可能となった。トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数					
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため					
目標値	900,000	970,000	968,000	968,000	968,000	
実績値	990,361	912,587				
達成度	110.0%	94.1%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	19,724	59,437			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源(松本城特会)	19,724	59,437			
人件費(千円)	1,669	1,656			
人工	0.18	0.18			
正規	1,384	1,366			
嘱託	285	290			
	0.1	0.1			
合計コスト +	21,393	61,093			
前年度比	-	285.6%			

事務事業評価票

事務事業名	庭園・公園管理
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	庭園・公園管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本城本丸庭園、松本城公園等の管理

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本城本丸庭園、松本城公園清掃業務委託
松本城本丸庭園、松本城公園の環境美化、景観保持に努めた
- 松本城本丸庭園、松本城公園冬囲い業務委託
松本城の冬の風物詩となっている冬囲い及び正月しめ縄の製作を委託し、樹木の保護及び文化の伝承を図る
- 松本城本丸庭園、松本城公園樹木等総合管理業務委託
松本城本丸庭園、松本城公園の樹木、草木、芝生等を総合的に保全管理を実施
- 樹木病害虫駆除
松本城本丸庭園、松本城公園内の松に、松くい虫防除の樹幹注入を実施し、松枯れを防ぐ

< 現状に対する認識 >

多くの市民、観光客が訪れる松本城本丸庭園、松本城公園の環境美化、景観の保持ができた。
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため				
目標値	900,000	970,000	968,000	968,000	968,000
実績値	990,361	912,587			
達成度	110.0%	94.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	21,316		24,756							
国・県										
利用者負担金										
その他	10,608		12,328							
一般財源(松本城特会)	10,708		12,428							
人件費(千円)	1,669	人工	1,656	人工		人工		人工		人工
正規	1,384	0.18	1,366	0.18						
嘱託	285	0.1	290	0.1						
合計コスト +	22,985		26,412							
前年度比	-		114.9%							

事務事業評価票

事務事業名	観光宣伝
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	観光宣伝費

< 事業の狙い >

事業計画年度	～
--------	---

松本城誘客用のパンフレット等の作成、松本城おもてなし隊の活動、国宝松本城ホームページの運用により観光客の増加に努める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 松本城を誘客のためのパンフレット等の作成し、旅行会社等に配布
- 2 松本城おもてなし隊の活動
- 3 国宝松本城ホームページの運用・保守
- 4 松本城公園イルミネーション
- 5 松本城VR映像制作配信

< 現状に対する認識 >

松本城おもてなし隊、国宝松本城ホームページ等を運用することにより、松本城を基点とした回遊性創出のきっかけに努めた。また、8月から天守入場までの待ち時間をリアルタイムでホームページに掲載している。
江戸時代の松本城内を3次元CGで制作し配信しているVR体験は好評で、大勢の観光客に楽しんでいただいている。 トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数					
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため					
目標値	900,000	970,000	968,000	968,000	968,000	
実績値	990,361	912,587				
達成度	110.0%	94.1%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	19,899	37,927			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源(松本城特会)	19,899	37,927			
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	
嘱託	0	0	0		
合計コスト +	21,437	39,445			
前年度比	-	184.0%			

事務事業評価票

事務事業名	施設整備事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	施設整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

松本城天守、史跡松本城及び関連施設の適切な維持管理による、松本城の歴史的景観の維持。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 天守他塗替え委託
天守、太鼓門、黒門の漆部分の塗替え委託を実施
- 松本城施設の修繕、営繕工事を実施
- 松本城施設整備基金への積立

< 現状に対する認識 >

松本城施設の保全を目的に、修繕、業務委託、営繕工事を実施した。
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数					
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため					
目標値	900,000	970,000	968,000	968,000	968,000	
実績値	990,361	912,587				
達成度	110.0%	94.1%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	148,469	37,753			
国・県					
利用者負担金					
その他	3,373	2,329			
一般財源(松本城特会)	145,096	35,424			
人件費(千円)	6,338	人工	6,272	人工	
正規	5,768	0.75	5,693	0.75	
嘱託	570	0.2	579	0.2	
合計コスト +	154,807	44,025			
前年度比	-	28.4%			

事務事業評価票

事務事業名	堀浄化対策事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	堀浄化対策

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

松本城の堀(内堀、外堀、総堀)の堆積物除去及び水質浄化を実施し、快適な公園環境・見学環境の維持向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本城史跡内堀等清掃業務委託
史跡内の堀の清掃を定期的実施
- 松本城堀浄化薬剤散布業務委託
堀の水質浄化と堆積物の改善のため、薬剤(酸化マグネシウム)の散布を実施

< 現状に対する認識 >

堀の清掃、適正な水質管理等により堀全体の維持管理が出来た。
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	利用率及び利用者数					
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を測定できるため					
目標値	900,000	970,000	968,000	968,000	968,000	
実績値	990,361	912,587				
達成度	110.0%	94.1%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	6,660	6,479			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源(松本城特会)	6,660	6,479			
人件費(千円)	2,307	2,277			
人工					
正規	2,307	2,277			
嘱託	0	0			
合計コスト +	8,967	8,756			
前年度比	-	97.6%			

事務事業評価票

事務事業名	松本城学びと研究事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	松本城学びと研究事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民に松本城を身近に感じていただく

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本城で学びの場を提供する
 - 夏休み子ども勉強会
 - 国宝松本城天守床磨き
- 展示品管理
 - 松本城に寄贈された138挺の火縄銃及び洋式銃等の清掃を行う。

< 現状に対する認識 >

夏休み子ども勉強会、国宝松本城天守床磨きが予定どおり実施できた。
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
			5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	国宝松本城天守床磨き開催回数				
指標の設定理由	松本城の学びの場としての活用状況を把握できるため				
目標値	13	13	13	13	13
実績値	13	13			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	525		525							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	525		525							
人件費(千円)	536	人工	544	人工		人工		人工		人工
正規	231	0.03	228	0.03						
嘱託	0	0	0							
研究専門員	305	0.1	316	0.1						
合計コスト +	1,061		1,069							
前年度比	-		100.8%							

事務事業評価票

事務事業名	売店管理運営
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	売店管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度	～
--------	---

松本城の関連商品を販売し、松本城の観光客思い出を持ち帰ることでピーター及び新規観光客獲得につなげる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	売店の管理運営
2	商品販売業務、売上の集計、商品棚卸
3	売店備品購入

< 現状に対する認識 >

販売商品の精査、支払方法(カード決済、電子マネー等)を検討していく
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	売店売上額					
指標の設定理由	松本城売店の売上状況を測定できるため					
目標値	134,700	144,480	144,480	144,480	144,480	
実績値	149,000	150,218				
達成度	110.6%	104.0%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	103,261	100,780			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源(松本城特会)	103,261	100,780			
人件費(千円)	4,531	4,559			
人工					
正規	1,538	1,518			
嘱託	2,993	3,041			
合計コスト +	107,792	105,339			
前年度比	-	97.7%			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	各種行事運営
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	各種行事運営費

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

松本城を背景に各種行事を行い、市民や観光客に松本城を身近に触れていただくとともに、質の高い伝統文化を提供し、文化財保護意識と集客を高める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 松本城本丸庭園及び松本城公園を主会場とする各種行事
関係団体への委託及び負担金

< 現状に対する認識 >

各種行事を通じ、多くの市民や観光客に松本城をより身近に感じていただくため、主会場である本丸庭園等を無料開放し、文化財保護意識と市街地の回遊性を高めた。
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	参加人数					
指標の設定理由	松本城への行事来場者数で効果が測定できるため					
目標値	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	
実績値	214,610	214,072				
達成度	107.3%	107.0%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	25,533	25,906			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源(松本城特会)	25,533	25,906			
人件費(千円)	8,459	8,349			
正規	8,459	8,349			
嘱託	0	0			
人工	1.1	1.1			
合計コスト +	33,992	34,255			
前年度比	-	100.8%			

事務事業評価票

事務事業名	危機管理防災対応事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	危機管理防災対応事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	～
--------	---

諸災害の発生に備え観光客や市民の安全を確保するとともに、災害時の文化財松本城の被害軽減に取り組むもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 保守点検 防災ネットワーク保守点検、電気設備点検

< 現状に対する認識 >

機器の保守により、非常時でも機能するようできた。
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	点検の実施回数					
指標の設定理由	危機管理対策を把握するため					
目標値	1	1	1	1	1	
実績値	1	1				
達成度	100.0%	100.0%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	1,568	920			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源(松本城特会)	1,568	920			
人件費(千円)	2,307	人工 759	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3 759	0.1		
嘱託	0	0 0			
合計コスト +	3,875	1,679			
前年度比	-	43.3%			

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	国庫補助松本城史跡整備事業
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
			5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	国庫補助松本城史跡整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

史跡松本城の保護と安全性の確保を図るため、崩落のおそれのある石垣を修理するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 史跡松本城(本丸北外堀南面石垣)保存整備事業
平成29年度に実施した修理工事実施設計に基づき、本丸北裏門東側門台石垣の解体修理工事に着手。

< 現状に対する認識 >

平成30年度も引き続き、解体・積直し工事に取り組みます。文化財修理事業として適切な工事となるよう、文化庁及び有識者の助言を得ながら進めます。トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	危険度Aの石垣修理の進捗率				
指標の設定理由	石垣修理の進捗率を把握するため				
目標値	20	21	23	24	26
実績値	20	21			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	3,221		15,610							
国・県			7,800							
利用者負担金										
その他			210							
一般財源(松本城特会)	3,221		7,600							
人件費(千円)	6,152	人工	4,554	人工		人工		人工		人工
正規	6,152	0.8	4,554	0.6						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	9,373		20,164							
前年度比	-		215.1%							

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	単独松本城史跡整備事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	単独松本城史跡整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H14 ~

史跡松本城の保護と安全性の確保を図るため、定期的に石垣の動態を観測し、崩落の危険性を把握するもの。
また、来場者の本丸への唯一の出入口である黒門を改修し、地震時等の安全を確保するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 石垣動態観測業務委託事業
平成25年に定めた観測点について、年1回、測量を行い、動態状況を把握。
- 松本城黒門改修工事
来場者の安全確保のため、老朽化した黒門の瓦改修、石垣崩落防止工事等を実施。
- 国宝松本城天守屋根破損状況調査
大天守5階で発生した雨漏りについて、被害状況の確認及び、原因箇所の調査を実施

< 現状に対する認識 >

石垣の整備事業完了までは、今後も動態観測を継続する必要がある。
黒門改修工事により、来場者の安全性は確保されたが、応急的な工事であるため、将来的には、耐震診断結果等を踏まえ、根本修理を行う必要がある。
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
	5つの重点目標	
	松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年間の動態観測実施回数				
指標の設定理由	動態観測を実施し石垣の状況を監視するため				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	399		81,372							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)	399		81,372							
人件費(千円)	2,307	人工	3,795	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	3,795	0.5						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	2,706		85,167							
前年度比	-		3147.3%							

事務事業評価票

部局名	教育部	課名	松本城管理事務所	課CD	13280000
-----	-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	国宝松本城天守耐震対策事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	国宝松本城天守耐震対策事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H29 ~

平成26～28年度の3年間で実施した松本城天守耐震診断の結果をもとに、天守の耐震補強内容の検討を行うと共に、天守建物と石垣との一体的な耐震対策に取り組みます。
あわせて防災整備の見直し、避難誘導計画の立案、展示の見直しを行うものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 国宝松本城耐震対策専門委員会を設置、開催し、耐震補強案、来場者の安全確保のための方策等について検討。
- 2 有識者に依頼し、地震時の天守内来場者がより短時間で避難するための避難誘導計画を策定

< 現状に対する認識 >

耐震補強工事の実施に向け、国宝松本城耐震対策専門委員会での検討を基に、耐震対策基本計画を策定します。
トリップアドバイザー(行ってよかった日本の城部門 第2位)

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
	5つの重点目標	
	松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	国宝松本城天守耐震対策専門委員会の開催回数				
指標の設定理由	耐震補強工事の進捗状況を把握するため				
目標値	-	2	3	2	2
実績値	-	2			
達成度	-	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		6,968							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源(松本城特会)			6,968							
人件費(千円)	0	人工	6,072	人工		人工		人工		人工
正規	0	0	6,072	0.8						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	0		13,040							
前年度比	-		-							

美術館

副館長 小口 一夫

事務事業評価票

事務事業名	美術館管理運営
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民の芸術文化の振興を図り、文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、美術館が目指す4つの柱(鑑賞・表現・学習・交流の場)を踏まえた管理運営を実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 指定管理内容
美術館の管理運営部門について、5年間(29~34年度)の特命指定として(一財)松本市芸術文化振興財団へ委託した。
委託内容は以下のとおり
(1)施設運営に関する業務(受付・案内・監視業務、観覧料・使用料の徴収、ミュージアムショップの運営等)
(2)施設管理に関する業務(警備、施設・設備の保守維持管理、小規模修繕)
(3)経営管理業務
(4)自主事業(施設の利用促進のための事業)
- 美術館の大規模改修
平成14年の開館から15年を経過し、空調設備や照明・移動壁の交換等並びに収蔵庫の狭隘に伴う増床等が必要な時期になっており、開館20周年の前年の33年度に大規模改修の計画が必要で、30年度から基本計画策定のための調査委託費を当初予算に計上した。

< 現状に対する認識 >

貸館部門については、年々使用が増加しているなか、利用調整会議を実施し、県展規模の展覧会、周年記念事業等、慶事に伴う展覧会等を優先に、多くの団体に利用できるよう調整をする。大規模改修については、30年度から現地調査を行う予定であるが、住宅課も調査へ立会いながら、概算工事費の査定を実施する。

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	ギャラリーABの稼働率(%:利用日/利用可能日数)				
指標の設定理由	市民等の成果発表の場の利用状況を測定できるため				
目標値	90.0	90.0			
実績値	86.7	90.2			
達成度	96.3%	100.2%			
成果指標(指標名)	ミュージアムショップ売払収入(千円)				
指標の設定理由	運営の状況を直接的に測定できるため				
目標値	34,080	42,600			
実績値	48,553	61,957			
達成度	142.5%	145.4%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	193,082	219,535			
国・県					
利用者負担金	58,513	70,707			
その他					
一般財源	134,569	148,828			
人件費(千円)	23,070	22,011			
人工	3	2.9			
正規	23,070	22,011			
嘱託	0	0			
合計コスト +	216,152	241,546			
前年度比	-	111.7%			

事務事業評価票

事務事業名	美術館事業
-------	-------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館事業費

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち	主な取組み	学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実	
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

市民の芸術文化の振興を図り、文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、美術館が目指す4つの柱(鑑賞・表現・学習・交流の場)を踏まえた事業を実施する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 展覧会事業**
市制施行110周年記念・美術館開館15周年記念事業として以下企画展を開催(人数は観覧者数)。コレクション展(常設展)は、新収蔵作品おひろめ展、「山の日」特集展示、宮坂勝と石井柏亭の収蔵品展を行い、市制施行110周年記念の特別企画として、日本浮世絵博物館の所蔵品展を開催した。
(1)「堤清二展」(当館顧問であった堤氏の収集作品等を展示)8,479人
(2)「山本二三展」(アニメーションの背景画家の原画等を展示)39,411人
(3)「細川宗英展」(地元出身作家を顕彰する企画)6,007人
(4)「草間彌生展」(地元出身作家を顕彰する企画)23,489人(3月末まで)
- 2 草間彌生顕彰事業**
特別展開催による各種PRや外国語版パンフレットを増刷する等、国内外への発信に努めた。(増刷部数:英語版 20,000部、繁・簡体語版 各10,000部)
- 3 教育普及事業**
各世代を対象とした各種ワークショップや講座のほか、展覧会や美術の魅力伝えるための「館長講座」「学芸講座」を開催。また、学校への出張講座や見学対応等で美術館所蔵品をカードにした鑑賞教育教材を活用し、子どもたちが美術に親しむ機会を創出した。
開催実績 講座数147人(内子ども対象38講座)、参加人数6,218人(内子ども対象 5,983人)
- 4 保存管理事業**
作品の保存管理のため、修復・額装や館内環境調査を行った。
修復・額装実績 修復14点、額装12点

< 現状に対する認識 >

展覧会は、より多くの方に鑑賞いただけるようメディアとの共同開催による広報・宣伝等、開催方法について検討する。草間顕彰は、特別展を通しメディアや商業施設等とタイアップし、国内外へのPRを強化すると共に、市内の回遊に繋がる企画運営を行う。教育普及は、学校との連携を深め、美術館の展示と教材を活用した鑑賞教育を充実させる。保存管理は、適切な作品保存環境の維持に努め、引き続き計画的な修復等業務を継続する。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	企画展の観覧者数(人)				
指標の設定理由	PRなど、市民等への周知が充分であるか測定できるため				
目標値	42,500	60,000			
実績値	38,248	77,386			
達成度	90.0%	129.0%			
成果指標(指標名)	講座等への参加者数(人)				
指標の設定理由	時代のニーズにあう講座が開催されたか測定できるため				
目標値	1,900	1,900			
実績値	7,883	6,218			
達成度	414.9%	327.3%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	85,157	124,971			
国・県					
利用者負担金	39,015	32,379			
その他	104	62			
一般財源	46,038	92,530			
人件費(千円)	48,990	47,671			
人工	6	5.9			
正規	46,140	44,781			
嘱託	2,850	2,890			
合計コスト +	134,147	172,642			
前年度比	-	128.7%			

事務事業評価票

事務事業名	アカデミア館管理運営
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	アカデミア館管理運営費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民の芸術文化の振興を図り、文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、市民の鑑賞・表現・学習・交流の場として新たな美術を育む創造の母体となることを目指すもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 指定管理内容	アカデミア館の指定管理者が梓川ふるさと振興公社から(一財)松本市芸術文化振興財団に変わり、5年間(29~34年度)の特命指定の当初年として委託した。
2 委託内容	(1) 施設の事業に関する業務(展示、展覧会、資料の収集・保管・貸出) (2) 施設運営に関する業務(開館業務、観覧料・使用料の徴収、施設の貸出) (3) 施設管理に関する業務(警備、施設・設備の保守維持管理、清掃等) (4) 経営管理業務 (5) 自主事業(施設の利用促進のための事業)
3 展覧会等の開催	(1) 主催展覧会 梓川賞展ほか8展 (2) その他展覧会 洞澤今朝夫追悼展ほか19展 (3) イベント等 開館記念コンサートの他梓弓研究会を立上げ9回実施

< 現状に対する認識 >

平成29年度に指定管理者を(一財)松本市芸術文化振興財団に変更、松本市美術館と一体的な管理を進める。同じ財団が指定管理をしている、美術館、音楽文化ホール、波田文化センターとの連携を深め、アウトリーチ事業などの相互交流を深めていく。

部局名	教育部	課名	美術館	課CD	13440000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	631	文化芸術活動の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み		学習成果を社会貢献に活かせる生涯学習の充実
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	入館者数(人)				
指標の設定理由	入館者数により魅力ある館運営が実施されているか測定できるため				
目標値	20,000	20,000			
実績値	16,672	20,752			
達成度	83.4%	103.8%			
成果指標(指標名)	梓川賞展への作品応募数(点・応募数)				
指標の設定理由	市内外の美術愛好家からの注目度、関心度を測ることができるため				
目標値	100	100			
実績値	381	103			
達成度	381.0%	103.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	16,546	31,721			
国・県					
利用者負担金	1,159	1,028			
その他					
一般財源	15,387	30,693			
人件費(千円)	0	人工	1,518	人工	
正規	0		1,518	0.2	
嘱託	0		0		
合計コスト +	16,546	33,239			
前年度比	-	200.9%			

博物館

館長 木下 守

事務事業評価票

事務事業名	博物館事業
-------	-------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	博物館事業費

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市 長 公 約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進		5つの重点目標	
				松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

市民の歴史・文化資産に対する理解を深めるため、松本市立博物館本館と分館14館で資料の収集・保管、調査研究、展示、講座・講演会等を実施するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 博物館資料の収集・保管業務
 - (1) 収蔵資料・図書の資料整理・登録(全館)
 - ア 各館収蔵資料、寄贈資料を博物館資料管理システムに登録するもの
 - イ 各館所蔵図書、新規寄贈・交換図書を同上システムに登録するもの
 - (2) 保存処理業務
 - 掛軸・書籍の修復、金属製品の保存処理 等
- 常設展、特別展・企画展の実施
 - (1) 本館
 - 資料保存のための常設展示替えと、特別展を開催
 - (2) 分館
 - 各施設の特徴を活かした特別展・企画展を開催
- 講座・講演会の実施
 - (1) 本館
 - 第8回 復活 話をきく会 年1回 (参加者 42名)
 - (2) 分館
 - 考古博物館のあがたの森考古学ゼミナール、歴史の里のはた織り体験講座など、9分館で各施設の特徴を活かした講座・講演会を開催
- 各種印刷物の刊行
 - (1) 館ニュース「あなたと博物館」(年6回発行) 各5,000部
 - (2) 『松本の子どもの短歌 2017』 発行7,500部 など

< 現状に対する認識 >

松本まるごと博物館として、本館・分館で多様な市民ニーズに答える展覧会・講座・講演会を今後も実施していくとともに、未登録の博物館資料が多いため、基幹博物館の建設に向け、資料整理・登録作業の推進が課題である。

< 指標の達成状況 >

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	観覧者数(分館13館)					
指標の設定理由	博物館事業に対する市民の関心を具体的に測定できるため					
目標値	230,000	231,250	232,500	233,750	235,000	
実績値	227,769	251,748				
達成度	99.0%	108.9%				
成果指標(指標名)	資料・図書登録					
指標の設定理由	博物館資料の収集・保存の活動状況を測定できるため					
目標値	52%	53%	54%	55%	56%	
実績値	51%	54%				
達成度	98.1%	101.9%				

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	34,464	33,473			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	34,464	33,473			
人件費(千円)	63,272	63,105			
正規	40,757	40,227			
嘱託	22,515	22,878			
人工	5.3	5.3			
人工	7.9	7.9			
合計コスト +	97,736	96,578			
前年度比	-	98.8%			

事務事業評価票

事務事業名	まる博構想推進事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	まる博構想推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

平成12年度に策定した松本まるごと博物館構想に基づき、博物館が市民協働や博物館連携事業を実施することにより、学びを通じた「ひとづくり」「まちづくり」を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- まる博deウォーキング事業
博物館と市民学芸員の会が協働して作成した松本城下町の文化遺産を巡るウォーキングマップを使用し、一般市民を公募したウォーキングを実施。
(1) 事業名 まる博deウォーキング
(2) 実施日 平成30年3月24日(土)
(3) 参加者 15名
- 松本藩領ミュージアム事業
平成26年度から実施している中信地区を対象範囲とする広域連携事業として、講演会を開催。
(1) 事業名 松本藩領ミュージアム講演会
(2) 内容 「菅江真澄と松本平の民俗」 中原文彦氏(本洗馬歴史の里資料館指導員)、倉石あつ子氏(豊科郷土博物館新市立博物館準備室職員)
(3) 実施日 平成30年3月11日(日)
(4) 参加者 59名
- 博物館連携事業
(1) 「郷土の刀剣展」
ア 会期 平成29年4月29日(土)~6月4日(日)
イ 連携先 松本博物館友の会「松本の郷土刀研究部会」
ウ 入館者数 29,336人
(2) 姉妹館交流30周年記念特別展「旧開明学校校舎収蔵品展」
ア 会期 平成29年10月6日(金)から12月6日(水)
イ 連携先 愛媛県西予市旧開明学校校舎
ウ 入館者数 17,660人

< 現状に対する認識 >

市民が気軽に参加したり、地域の文化資産を身近に感じられるような学習支援事業が少なく、市民の学習要望に応えられていないため、市民学芸員活動を中心に引き続き市民協働事業を推進していく。

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約 公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち			
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	観覧者数(分館13館)				
指標の設定理由	博物館事業に対する市民の関心を具体的に測定できるため				
目標値	230,000	231,250	232,500	233,750	235,000
実績値	227,769	251,748			
達成度	99.0%	108.9%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	305		1,911							
国・県										
利用者負担金										
その他			558							
一般財源	305		1,353							
人件費(千円)	11,992	人工	11,894	人工		人工		人工		人工
正規	9,997	1.3	9,867	1.3						
嘱託	1,995	0.7	2,027	0.7						
合計コスト +	12,297		13,805							
前年度比	-		112.3%							

事務事業評価票

事務事業名	博物館特別展開催事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	博物館特別展開催事業費

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち		主な取り組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

平成12年度に策定した松本まるごと博物館構想に基づいて、特別展を開催することにより、市民に学習機会を提供するとともに、郷土の歴史や文化資産の保護に対する市民の関心を高めて「ひとづくり」「まちづくり」に貢献するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市立博物館(本館)で、以下の2展覧会を開催。

- 特別展「山岳画家・武井真激展」
 - 会期
平成29年7月15日～9月24日
 - 内容
長野県出身で松本中学校で図画教師として活躍した山岳画家・武井真激(明治8年～昭和32年)の作品寄贈に伴う特別展。
 - 入館者数 48,727人
- 特別展「松本市立博物館収蔵品展」
 - 会期
1期:平成29年4月22日～5月14日
2期:平成29年10月7日～12月10日
3期:平成30年1月3日～4月15日
 - 内容
1期:「松本市立博物館収蔵品展 - 初代松本市長・小里頼永」
2期:「収蔵品展 ～寄贈資料の物語り～」
3期:「収蔵品展 ～あの頃の松本～」
 - 入館者数 84,568人

< 現状に対する認識 >

現状で目標値を達成している。今後は平成35年度開館予定の基幹博物館移転に向けた博物館資料の整理・登録業務とバランスのとれた規模・回数で、市民の多様な学習ニーズにこたえるための特別展を開催していく。また、基幹博物館における特別展事業の在り方も検討していく必要がある。

< 指標の達成状況 >		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	特別展期間中観覧者(人)					
指標の設定理由	博物館事業に対する市民の関心を具体的に測定できるため					
目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	
実績値	42,534	133,295				
達成度	141.8%	444.3%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	4,720	6,519			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,720	6,519			
人件費(千円)	12,761	12,833			
人工	1.4	1.5			
正規	10,766	11,385			
嘱託	1,995	1,448			
合計コスト +	17,481	19,352			
前年度比	-	110.7%			

事務事業評価票

事務事業名	松本市基幹博物館整備事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	基幹博物館整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～H35

松本城の史跡内に位置し、開館から50年以上が経過した現博物館を、城下町の再生を進めるうえで極めて重要なエリアとなる松本城三の丸地区の市営松本城大手門駐車場敷地に、松本まるごと博物館の中核施設(基幹博物館)として移転新築するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 設計者の選定
公募型プロポーザル方式により建築と展示の設計者を一体で募集し、専門家等で構成した「設計プロポーザル選考委員会」において、公開プレゼンテーション及びヒアリングを行い、審査・選定した。
- 2 建築及び展示の基本設計
「設計プロポーザル選考委員会」で選定された最適候補者の「久米・伊藤・乃村共同企業体」と設計業務委託契約を締結し、建築及び展示の基本設計に着手した。設計を進めるに当たり、設計者と全体会議、建築分科会及び展示分科会を定期的に開催するとともに、設計に市民意見を反映するため、市民ワークショップを3回開催した。
- 3 建設予定地の調査等
地盤調査、用地測量、不動産鑑定、地下水影響調査及び工事損害調査を行った。
- 4 建設予定地の拡張
建設予定地である松本城大手門駐車場敷地に、北東側隣地を新たに事業用地として追加し、用地交渉を進めている。

< 現状に対する認識 >

- 1 現博物館は国史跡松本城内に位置することから、松本城の文化的価値をより高めるためにも、現地からの移転が必要である。
- 2 開館から50年以上が経過していることから、施設や設備の老朽化・狭隘化が著しく、市民が学ぶスペースや収蔵庫等も不足している。また、公共施設としてユニバーサルデザインに対応した施設となっていないことから、早期の移転新築が急務である。

部局名	教育部	課名	博物館	課CD	13450000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	9	「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承		
基本施策(個別目標)	641	歴史・文化資産保護・活用の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
			松本版総合戦略			

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	松本市立博物館本館の共通券(博物館販売分) + 単独券販売枚数				
指標の設定理由	同規模の長野市立博物館を参考に、博物館単独での有料観覧者数を設定				
目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
実績値	16,943	17,489			
達成度	84.7%	87.4%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
*	9,580	188,215							
国・県									
地方債									
その他		110,000							
一般財源	9,580	78,215							
人件費(千円)	13,390	人工	28,562	人工		人工		人工	
正規	7,690	1	22,770	3					
嘱託	5,700	2	5,792	2					
合計コスト +	22,970		216,777						
前年度比	-		943.7%						